

令和3年度第1回 四街道市みんなで地域づくり推進委員会 次第

日時：令和3年7月5日（月）9時50分～

会場：四街道市福祉センター3階 会議室1

1 開 会

2 副委員長選出

3 議 事

- (1) 令和2年度地域づくりコーディネーター業務報告
- (2) 令和3年度地域づくりコーディネーター業務計画
- (3) みんなで地域づくり事業提案制度（令和2年度実施）事業ふりかえり
- (4) みんなで地域づくり事業提案制度の審査方法について

4 その他

5 閉 会

令和2年度四街道市地域づくりコーディネーター業務委託事業報告

四街道市みんなで地域づくりセンター
受託団体：特定非営利活動法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ

1. 施設利用状況

内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
来所者数 (人)	63	77	155	189	171	255	407	520	956	126	82	183	3184
1日あたり来所者数 (人)	4	4	9	9	8	12	18	27	48	8	6	10	14
ミーティングスペース 利用団体 (団体)	5	5	15	16	18	14	24	19	21	11	10	11	169
ミーティングスペース 利用人数 (人)	22	22	87	109	93	73	154	139	141	59	47	61	1007
新着情報 (件)	27	26	23	27	32	44	34	30	23	28	14	39	347
相談件数 (件)	4	2	6	8	3	8	3	6	3	2	1	1	47
開館日(日)	18	20	17	21	21	21	23	19	20	16	14	19	229
休館日に主催事業等を実施した日	0	0	1	0	0	0	1	1	0	2	3	2	10

オープン日：239日（通常オープン日229日、休館日などに講座・企画事業などを実施した日10日）

来所者数には、みんなで地域づくりセンター以外を会場とした主催事業等の参加人数も含まれます（12月5日ちばユニバーサル農業フェスタ800人、みんなでスマホ・タブレット10月140人、11月291人など）

センターの運営体制（文化センター耐震化工事のための移動と新型コロナウイルス感染拡大防止の対応について）

・旧レストランの場所からのセンター引っ越し作業及び再開準備を4月21日～5月1日に行い、5月7日に現在の場所に戻った。

〔新型コロナウイルス感染拡大防止の対応について〕

・4月9日～5月31日（緊急事態宣言） 窓口業務休止、電話・メール等での相談対応火曜～金曜10～15時、土曜日休館。6月2日から火曜～金曜9時～17時は開館、土曜日休館。7月1日から通常通りの開館時間となった。

・1月9日～3月21日（2回目の緊急事態宣言）火曜日～金曜日 9時～17時、土曜日 休館（ただし企画事業などがある場合は土曜日実施可）宣言解除後は、火曜日～金曜日9時～17時、土曜日開館とした。

・センター開館時のみんなのテーブルの打ち合わせ等の利用について、利用者名簿への記入、ご自身の健康状況の把握、手洗い・手指の消毒、マスクの着用、距離を保った着席とした。

・8月～12月の講座は会場の定員を守り、誓約書記入、アルコール設置、マスク着用など感染予防をして開催、1月、2月の広報講座は当初文化センター会議室での開催を予定したが、オンラインに切り替えて実施した。

・上記について、ホームページ、Facebook、メールマガジン、掲示、留守電メッセージなどでお知らせをした。

2. 主なセンター事業と業務

ア、地域課題への取組みのプロデュースに関すること

イ、地域づくりを担う主体のネットワークに関すること

- 「地域づくりサロン」や地域づくりをテーマとした講座などを開き、地域課題への取組みにつなげる。
- 地域で市民や団体が、連携・協力して、地域の課題解決ができるようコーディネートする。

・ZOOM 座談会「今を語り、明日をつくろう」Ⅰ・Ⅱ

趣旨 新型コロナウイルスの感染拡大により、これまでの対面でのつながりができなくなったことを受け、地域の人と一緒にこれからの新しいつながり方を模索し、今後の事業展開のヒントとなることも期待する。

Ⅰ 状況や思いを共有しよう

自粛生活の続く中、市民が不自由や不安に思っていること、新しく見えてきたこと、地域でできることなどをオンラインの座談会で話し合い、その思いを共有する。 ※（ ）参加者のうちのスタッフ等の人数(以下同じ)

	日時	内容	参加※
①	5月19日(火) 13:30~14:30 オンライン	大学生から70代の人まで、子どものこと、地域のこと、学校、勉強、高齢者支援など様々な視点から意見交換できた。 内容:「今」から未来を創るために「前向きに進む」/当たり前だった「幸せ」に気づき、忙しくて気に留めなかったものに意識を向けた/実は不要であったものを整理できた/地域の人と繋がり続けるための新たなツールや情報発信を/大学生によるラジオ発信や安心安全な居場所の情報など	13人 (4人)
②	5月22日(金) 19:00~20:00 オンライン	夜間開催のため昼間は仕事をしている方も参加した 内容:高齢者福祉、障害者福祉への公的支援不足/子どものこころのケア/飲食店のテイクアウト需要/クローズな社会に向かっている!/?/自粛生活で第3の居場所がなくなった。	12人 (4人)

Ⅱ 地域のために思いを結ぶ

地域活動をしている人に参加してもらい、新たな地域のつながりの提案やアイデアを話し合う。

	日時	内容	参加※
①	6月9日(火) 13:30~14:30 オンライン	・地域にもっとコミュニケーションを!大学生が考えたラジオの発信 ・地域を越えたつながり・どんな時も子どもたちの学びを止めないアイデアは? ・子どもたちにソーシャルディスタンスを楽しく伝えるには?	9名 (4人)
②	6月12日(金) 19:00~20:00 オンライン	・(飲食店経営)新しい形のデリバリーの形どんなものがよいか? ・(大学生)ラジオ配信、市内視聴率100%を目指すには? ・(医療従事者)高齢者に向けて介護予防体操を写真や動画で紹介したい ・(医療従事者)高齢者が利用しやすい医療・介護マップを作成したい	10人 (4人)

成果と開催後の動き

- ・オンライン(ZOOM)という新しい形で地域での関わり方について市民が語り合い、日頃は顔を合わせる機会のない立場の人同士のつながりができ、新しい取り組みにチャレンジすることができた。
- ・実施後の動きとして、大学生のつくるラジオ番組を飲食店で流すなど参加者同士のつながりができた。
- ・飲食店のデリバリーについて、実現に向けて座談会の前後で継続して相談対応を行った。
- ・ZOOMに初めて参加する人に向けてオリジナルのマニュアルを作成、事前に設定・接続サポートを行いサポートすることができた。

地域の高齢化の中での困りごとを解決するためのコミュニティづくりをサポートすることについて

・地域づくりサロン「自治会情報交換会」

9月3日、コラが塾公開講座参加後、情報交換会を行うこととしたが、申込みが少なく情報交換会は実施できなかった。(自治会には、担当課から集会の自粛などについての連絡あるとのこと)併せて、8月8日の「みんなで災害支援を考えるつどい」への参加呼び掛けを行い、自治会からも参加があった。

今後の課題

コロナ禍の状況で自粛が求められる中、自治会の活動が停滞し自治会情報交換会は実施できなかったが、今後、実施意欲のある自治会を募ってオンラインコミュニケーション講座を開催し、オンラインでの情報交換会を試行していくことが必要と思われる。

子どもを取り巻く環境の課題を解決するためのコミュニティづくりをサポートすることについて

・子どもサポートプロジェクト

目的 センターと市民（プロジェクトメンバー）が協働し、困っている子どもに届く具体的な支援の取り組みを計画し実践する。

ミーティング ほぼ月1回開催（オンラインも活用）

内容 子ども食堂・居場所の状況、休校中の子どもの状況、お母さんの不安などについて
子ども見守りサポーター養成講座の企画および実施後の振り返り
プロジェクトの経過と今後の活動の確認（今できることとして、ZOOMでの話し合いの場を継続してつくり、マップに掲載している市内の子ども支援団体等のネットワークを図っていくこと）

① 情報発信 子ども向けチラシ作成・配布

昨年度「よつかいどうこどもたちのいばしょさがし/裏面 みんなの居場所あんない図」を作成し、3月中に各小学校に児童全員への配布を依頼、休校などもあり配布は6月からとなった。7月のFacebookへの掲載に対し、他市他県含めて30件以上のシェアがあり自分の自治体でも作りたいなどたいへん好評だった。

② 居場所づくり 中高生のオープンスペース「RAKUまある」

4月～9月中止 9月新型コロナウイルス感染予防についてスタッフが話し合い。

10月20日再開（千代田中チラシ配布）11月17日、12月15日感染予防対策をして開催 1月～3月中止

③ 子ども支援団体のネットワークづくり

「オンライン&オフライン交流会」

日時 7月28日(火)10:00～12:00 参加14人（7人+オンライン3人+スタッフ等4人）

参加団体 子どもサポートプロジェクト、にこにこ文庫、体験・出会い・夢ひろば、蔵の図書館、プレーパークどんぐりの森、てとて、TSUGA no わこども食堂

内容 「今の子ども、未来の子どものために」という視点からも意見交換をすることができ、ともすると内に籠り閉塞感も感じてしまいがちな状況の中で、これからのために「今」できることを考えるきっかけとなった。（感染症対策を考慮、安心して運営するためのガイドラインの作成、外遊びなど）

「四街道・子ども支援団体オンライン交流会」

日時 3月13日15:00～17:00（土）オンライン 参加 参加15人（スタッフ等3人）

参加団体 子どもサポートプロジェクト4人、遊びっこ基地2人、レクリエーション協会、蔵の図書館、四子連、プレーパーク、市議、千葉市から個人（各1人）

内容 家にいて外に出られないママの声を聴く場の必要性を感じる/この状況下でできることを楽しむ！ことも忘れないでおきたい。子どもの声を聞こう！/「みんなが笑顔のまち子ども条例」をもっと広めたい

・第2回子ども食堂交流会・学習会

日時	内容	参加※
9月5日(土)	10:00～子ども食堂における「食中毒と新型コロナウイルス対応」～テ	30人

10:00~12:00	<p>イクアウトにおける注意～ 講師 澤田康裕さん</p> <p>1) 新型コロナウイルスについて</p> <p>2) 子ども食堂における感染拡大防止</p> <p>3) テイクアウトした場合の細菌性食中毒</p> <p>11:00～ 交流会(前半 自己紹介・学習会振り返り、後半「子ども食堂ネットワークを四街道に！」をテーマに意見交換)</p> <p>[参加者アンケートより] 回答数 23 (点数評価 平均 88 点/100 満点)</p> <p>良かった点: 情報交換できた。コロナで何に気を付ければいいのか具体策を聞いた/子どもキッチンの再開のヒントをいただいた</p> <p>活動に活かせるヒント: 新しい考え方の準備、食事がなくても居場所でよいという視点/子ども食堂単体ではなく、ボランティアセンターや農家、民生委員とつながってよりよい支援ができればよいのではないかな</p>	(6人)
-------------	--	------

成果と今後の課題

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のために子ども食堂や居場所の活動再開に踏み出せないでいる団体にとって、「これから、どうやって活動していこうか？」を前向きに考え一歩踏み出すきっかけになった。
- ・子ども食堂ネットワークについての意見交換において、メリットとして、①他の自治体の情報が入る (子ども食堂保険やガイドラインなど) ②食材を共有可能 ③ボランティアスタッフの人材確保 (ボランティアセンターとの協力) ④問題や課題、解決策の共有 (情報共有) などがあげられた。子ども食堂ネットワークをどう立ち上げるかは、社会福祉協議会との打ち合わせを持ち今後の検討していきたい。

・子ども見守りサポーター養成講座 2020 ～ネモネット 生きているだけでOKな場所～

趣旨 困難な状況にある子どもたちが増えている今、私たちができることを考え、子どもたちを見守る人を地域に増やすための講座。今回は、不登校・ひきこもりのサポートについて地域で何ができるのかを学ぶ。

日時	内容	参加※
12月22日(火) 9:45~11:45	<p>講演「ネモネット・生きているだけでOKな居場所」</p> <p>講師 前北海さん (ネモちば不登校・ひきこもりネットワーク (略称:ネモネット) 理事長) 習志野と市川の2拠点で活動。</p> <p>講座では不登校・ひきこもりの子ども・若者たちの思いや現状や、どのような居場所を求めているのかをお聞きする。</p> <p>・(講演後) 一人ひとり講座内容の気づき、質問などを紙に書きだす。</p> <p>記入したものを見ながら、4人グループで振り返り、質問を出し合う。</p> <p>・質疑応答</p> <p>[参加者アンケートより] 回答数 25 満足度: 大変満足 44%, 満足 48%</p> <p>講座内容でわかったこと、今後役立てそうなことは?: 子どもに対しての声のかけ方/子どもに「そのままのあなたでよい」「生きているだけで良い」と言ってあげたい/「休みたいといったときはもう限界」気づいてあげてほしい</p> <p>子どもサポートプロジェクトへの参加希望や興味は?</p> <p>希望する 4人、希望しない7人、興味がある 14人 (25件の回答)</p>	33人 (5人)

成果と今後の課題

- ・参加者について (参加動機から) 子どもが不登校など当事者数人、フリースクールの運営者、子どもの見守りをしている人、民生委員などが参加して、親のあり方や子どもを見守る実践に役立てたいなど、関心が

高い人が多く参加していたことがわかった。実践者である講師の講演から、保護者や子どもの支援者が、不登校や引きこもりの子どもへの対応の考え方を理解することができたと思われる。

子どもを取り巻く環境の課題の一つとしてとらえて、引き続きサポートを検討していくべきと思われる。

○みんなで地域づくりのアイデアのたねを探し、みんなで育てよう！

居場所づくり だれでも通えるみんなの居場所

・地域づくりサロン「シェアハウス生活のすすめ」

趣旨 実際に四街道でシングルマザーのためのシェアハウスを立ち上げたいという相談もある中、いすみ市で古民家シェアハウスを運営されている三星さんから、居場所としてのシェアハウス(住まい)について、運営に必要なコト、核となることとは何かを伺う。

日時	内容	参加※
8月4日(火) 9:30-11:30	講師 三星千絵さん(古民家シェアハウス「星空の家」運営) 内容 シェアハウスの運営に必要なこと シェアハウスマネージャーの仕事を知る/シェアハウスのはじめ方 大切にしたいことは何か/シェアハウス運営のコツ [参加者アンケートより] 回答数13 満足度:大変満足6、満足5、普通1、回答なし1 良かった点:シェアハウスの管理方法について理解が深まった/実践から獲得したノウハウを細かく紹介された/空き家の有効利用という観点からも興味がある 改善点:今後、オンラインで配信することもありかもしれない 活動に活かせるヒント:地域に開かれた場所は子どもにも大人にも必要/シェアハウスに限らず起業するときのポイント(ターゲティング、コンセプト、広報手段)、組織運営(コミュニケーションやルールの設定)	21人 (5人)

成果(実施後の動き)

たくさんの方に興味は持っていただき、実際にシェアハウス運営を始めた方が1名、(物件を見つけてリフォーム) 将来はシェアハウスも選択に入れながら 場所のシェア(田、畑、蔵)をしている方が1名見られた。

・地域づくりサロン「まちにとけこむアート活動 ~だれでも参加できるアートでまちづくり~」

※感染予防のため、昨年度3月1日より4月19日に延期、再度延期して10月に実施することになった。

趣旨 美術などのアートを福祉施設や発達障害の子ども達、環境保護などに活かして活動しているこまちだたまおさんの活動内容をお聞きし、四街道でのアートをいかしたまちづくりのアイデアの種を出し合う。

日時	内容	参加※
10月11日(日) 13:30~16:00	講師 こまちだたまおさん(たまあーと創作工房 代表) 講義 「ゆるやかにとけこむアート」 ・アート(表現)という【ツール】における社会のミッションは ・教育(様々な教科の入り口になる) 思考力、想像力 創造力の向上 ・福祉 個々の存在価値を見出す 参加者は、福祉施設やアートの活動に参加している人が多く、グループディスカッションでは、四街道の資源として何があるかを出し合い、アートをまちづくりに生かすことについて情報交換が活発に行われた。	24人 (6人) 他に子ども4人

	[参加者アンケートより] 回答数 12 満足度：大変満足 8 人、満足 4 人 良かった点：アートの位置づけが広い部分であることが分かった/たくさんのヒントがあった/アートを展示できる環境をつくりたい	
--	--	--

今後の展開

講座では四街道での資源を洗い出し、思いを形にするための道筋を考えたので、今後、具体的なアクションを考える機会を作り、実際にどのようにまちづくりにつなげる取り組みに進めたい。

○災害時のセンターの役割を検討し、災害支援ネットワークづくりを進めることについて

センターでは東日本大震災直後から 7 回連続防災講座を開き、直近の 2019 年の台風後は、災害が起きた時にセンターがどういう役割が果たせるかを話し合ってきた。災害時における行政・NPO・ボランティア等との連携・協働（三者連携）の必要性が認められるなか、あらためてセンターの役割を考え、市民活動団体や事業者、関係機関との連携を図る取り組みを行う。

・「みんなで災害支援を考えるつどい」～四街道市に みんなで災害支援ネットワークを！～

日時	内容	参加※
8月8日(土) 13:30～16:00	1. 学習会の目的 2. 永田豊弁護士講演 「災害時生活再建支援について」 ①災害時における弁護士の役割 ②千葉県弁護士会の取り組み③生活再建に関する法律・制度の解釈・活用の方法 ④参加者からの質疑応答 3. ワークショップ「災害支援 あなたの組織ができること」 4. 「みんなで災害支援ネットワーク」の提案と今後の予定 [参加者アンケートより] 回答 21 講演会について：大変参考になった 10、参考になった 11 災害支援ネットワーク活動の希望？：専門家の講座 11、参加者同士の情報交換 10、先行する災害支援ネットワークによる講座 8 など 災害支援ネットワークどんなことが支援できるか：要配慮者の援助、子どもの学習サポート、災害ボラセンの運営支援、情報収集など	36人 (7人)

参加者所属等 社協、市民団体 8、自治会・避難所運営委員会など 3、企業・大学 3、その他自営業・市民 [まとめ] 各組織では日頃の活動の中で災害時の連携の必要性を強く感じ、「なにか動かなければ、つながらなければ…」と思っていることが分かった。日頃の活動に基づく資源(知識・情報など)が、災害時の被災者支援につながる可能性が高いことも明らかになった。

・第1回「みんなで災害支援ネットワーク」ミーティング

8月の「みんなで災害支援を考えるつどい」で決まった「みんなで災害支援ネットワーク」づくりについて、進め方などを具体的に考えていく

日時	内容	参加
11月21日(土) 13:30～16:00	1. 災害が発生した時に立ち上がる「災害ボランティアセンター」について 四街道市社会福祉協議会 2. 「みんなで災害支援ネットワーク」に参加する団体の紹介（日常の活動内容や災害支援に提供できる資源など）	30人(24 団体・企業・組織 から)

	<p>3. ネットワークの情報共有方法や活動内容についての意見交換 [みんなで災害支援ネットワークの運営について (抜粋)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各々の参加団体は、災害支援に関するネットワークの情報を共有し、連携して支援活動する。 ・参加メンバーの意向を基に、災害支援に関する外部講師を招いての勉強会や情報交換会を年 1、2 回を目安に開催する。必要に応じて、オンライン会議も開催する。 ・事務局は、四街道市みんなで地域づくりセンターが担当する。 <p>4. 災害支援に関する情報交換</p>	
--	--	--

・東日本大震災から 10 年 被災体験に学ぶ「そしてつなげよう、明日へ」

みんなで災害支援ネットワーク オンラインシンポジウム

趣旨 東日本大震災から 10 年目。当時の被災地のことを知り、これから生きる私たちにとってさらに大切なこととして災害に備えてどんな心構えでいるべきか、まちや人がどうあるべきかを改めて考える。

日時	内容	参加
<p>3月10日(水) 10:00~12:00 オンライン (ZOOMで開催) ※オンラインで参加できない人はセンターで参加 初めてZOOMを使う人の事前練習会も実施</p>	<p>【第1部】「あの日のこと。あれからのこと」 話し手 関口笑子さん(宮城県名取市閑上(ゆりあげ)で被災し、自宅流失。避難所で生活、現在鷹の台在住、四街道こどもまちづくりプロジェクトなどの地域活動を行っている) その後、インタビュー 【第2部】「まちには人がすんでいます」自らの体験を基にしたこれからのまちと人とのかかわり方についての関口さんの考えや提案 【ブレイクアウトルーム】4グループでの話し合い「災害が起きた時、私(の団体)ができること」 [参加者アンケートから] 回答16 大変満足43.8%、満足50%、その他6.2%(用事で参加できず) 心に残った言葉や活動のヒントは?:「被災者が避難所を運営する」と初めて知った/地域に住む私たちが、何かあったときに支えあい、生き抜くためには、人と人のつながりが大切。普段から地域に住む人とつながって、知らない誰かを減らしていく…それがみんなで災害支援ネットワークの意義だと感じている</p>	<p>32人 (オンラインとセンターで)</p>

成果と今後の展開

- ・災害支援ネットワーク参加 36 団体(46 人) NPO・市民団体(障害者支援、国際交流、ペット飼育、グルメマップ、子ども支援、私設図書館、朗読、レクレーション、音楽、里山活動)、企業、商店、医療、生協、盲学校、自治会・避難所運営委員会、社会福祉協議会、民生委員など。
- ・Facebook ページ「四街道みんなで災害支援ネットワーク」、メーリングリストでの情報発信を始めた。
- ・3 回の企画を通して、災害がおきたとき、主体的に連携して支援する関係性を築くことの理解を得た。日ごろから災害支援に関するネットワークを広げていくことの必要性を共有できた。
- ・センターに期待されることは、そのような思い・力のある組織・団体をまとめつなげていくための情報交換の場の提供や、他地域の事例紹介、非常時の情報集約と発信ではないか。災害ボランティアセンターを立ち上げる社会福祉協議会との連携も一層深め、いざという時の補完関係を築いていきたい。

・次年度は、災害支援を実践している団体からの外部講師や専門家、支援を必要とする団体や人を招いた勉強会などを行う。新しく参加する団体には、その都度、日ごろの活動や災害時に可能な対応などを示してもらい、ネットワークのすそ野を広げる工夫をしたい。

その他関連事項

- ※2月25日(木) ボランティアセンター・市民活動センター合同研修会 (千葉県・県社協主催)
対象 市町村社協、市民活動センター職員、市町村市民活動担当課、防災担当課、福祉担当課職員
四街道市は、当センターと社会福祉協議会が参加
内容 「災害時、地域の市民活動団体やボランティア等から多くの協力を得るためには何が必要か」
- ※3月7日(日) 千葉県協働のまちづくりセミナー「日常の取り組みを災害時にも」
コーディネーターが、「災害支援ネットワークづくり」について事例発表(発表15分)

○四街道の魅力発信や地域活性化について、「みんなで地域づくり」(市民協働)をすすめる拠点として市民、市民活動団体、行政、関係機関をつなぎ、コーディネートします。

里山保全の活動 四街道市の自然環境をいかした市民活動の活性化やまちづくりを進める

・オンライン里山活動団体交流会

北総クルベジより、四街道市内の里山団体との情報交換をして連携を図りたいとの声があり、交流会を開催した。※北総クルベジ 「未来の子供たちへ確かな未来を残そう」をテーマに里山の竹や間伐材で炭を作り田畑に埋めて、土の蘇りとCO2削減を行うプロジェクト。(事務局 有限会社ゆうき)

日時	内容	参加※
10月8日(木) 18:00~19:30 オンラインと センター会場	<ul style="list-style-type: none"> ・北総クルベジの活動紹介 炭づくり→畑の土地改良→野菜栽培→消費の循環「クールベジタブル」 温暖化防止とあわせて、四街道でも広げていきたい ・情報交換 ・参加団体 里山整備・活用団体、農業者、野外活動団体、産業振興課 	会場 14人、 オンラ イン 7人

成果と展開

・市内の里山活動団体の交流が図れた。また、北総クルベジが、ちばユニバーサル農業フェスタに出展し活動のアピールをすることにつながった。(北総クルベジでは、市内の農業者とも連携しており、その後、NPO法人みのり福祉会青空協同組合との農福連携を進めている)

○市民の主体的な地域づくりへの参加を促し、多様な人や団体が地域づくりに参加する企画を実施します。

・夏休み小学生ボランティア体験 →ボランティア受け入れ団体募集を開始していたが中止を判断した。

・福祉施設 紹介・販売フェア「大きなテーブル」

6月26日(金)27日(土)開催予定 参加団体の意向を聞いたうえで開催中止の判断をした。

5月に各団体の新型コロナの影響を聞き取った。約半数の団体は通常通りの活動をしていたが、他はイベントなどの中止により収益が減ったことや就労移行の利用者の親会社の休業などの影響が出ていた。

12月5日(土)「ちばユニバーサル農業フェスタ」には、出店し団体の商品や活動を紹介することができた。

成果と今後の展開

・福祉施設の団体が実行委員会を作り活動を始めている。販売品の品質の向上を目指し良い商品を提供したい、他の施設・団体の活動を知って一緒に新たな活動をしたいと思う団体が現れた。

次年度について、3月19日に大きなテーブルの打ち合わせを開き、6月12日(土)屋外・1日開催、販売のみ(飲食なし)で実施することを決定した。

・「ちばユニバーサル農業フェスタ 2020in 四街道」コーディネート

日時 2020年12月5日(土) 10:30~14:00 会場 文化センター前広場(屋外のみ・少雨決行)

主催 ちばユニバーサル農業フェスタ 2020in 四街道実行委員会 協力 センター、地域振興財団

実行委員会 NPO 法人はちみつ、NPO 法人みのり福祉会 障がい者就労・生活さぽーとピース、青空協同組合、NPO 法人希望、地域活動支援センターどんぐり工房、(社福)千葉県視覚障害者福祉協会 ワークショップ四街道、ベーぐるきっちん、事務局 NPO 法人地域創造ネットワークちば(今年は、大きなテーブルの市内の福祉団体が中心となって担った)

趣旨 今年には特にコロナ禍で販路を閉ざされた農業者や福祉団体に焦点をあて、農業の大切さを伝え、福祉団体の製品と活動を紹介する。普段どこで買えるかなどもお知らせして継続した販路につなげる。

出展料 「コロナ禍に対する支援」の意味から無料

新型コロナウイルス感染予防 体調チェックシート記入、マスク着用、アルコール消毒、受付済シール

出展ブース数 17ブース(22団体) 市内及び近隣の農業・福祉の関係団体に出展呼びかけ

「イチオシ写真展」実行委員の福祉団体(2団体)のはたらく姿の写真とパネル展示

センターは「みんなで写真展」、インターンシップ生の編集紙面掲示、みんなでカレンダー撮影

来場者 およそ700人(出展者含めおよそ800人が参加)

後援 千葉県、四街道市教育委員会、四街道市社会福祉協議会、千葉県生活協同組合連合会

協賛 生活クラブ生協千葉、(社福)生活クラブ、(一社)千葉県労働者福祉協議会、中央ろうきん(物品提供) ちば県民活動PR月間2020 賛同行事

[出展団体アンケートより] 回収21団体 大変よかった13、よかった7、よかったとはいえない0

次年度以降の出展の意向: 参加したい14、検討する7、参加しない0

感想: コロナによるイベント開催中止の中、今年度初めてのイベント販売で活気づいた/福祉関連や農業生産者と知り合うことができた/人との触れ合いができた/活動に関心を持ってくれた人がいた

今後の展開

・大きなテーブルの福祉団体が実行委員となって話し合い、コロナ対策もしてフェスタを開催することができた。今後もこの力を生かして、福祉団体から地域づくりを進めていくことを期待する。次年度も開催の方向で、9月に実行委員会を開き準備について決定する。

・講演会「福祉」×「ものづくり」×「地域づくり」地域とつながるものづくり⇒新しい価値をつくる

日時 3月29日(月) 13:00~15:45 ZOOM+センター参加(市内福祉団体3団体から5人)

主催 NPO 法人地域創造ネットワークちば(ユニバーサル農業講演会) 協力 みんなで地域づくりセンター

講師 北川雄史さん(岐阜県 いぶき福祉会)、国府田憲治さん(千葉県障害者就労事業振興センター)

参加26人(うちスタッフ等7人) 四街道市内のピース、青空協同組合、はちみつ 他県内福祉団体、中間支援組織等。青空協同組合は事業所で施設利用者約20人が一緒に視聴し参加した。

アンケート結果(15人提出) たいへん満足10、満足5

今後の展開

・次年度4月17日に続編となる「地域とつながるものづくり 商品の価値を伝えるデザイン」を開催し、福祉団体のものづくりを通して、他の分野の団体とも連携して地域づくりを進めることを目指す。

ウ、地域づくりの情報の収集、把握、共有及び提供に関すること

- ・情報誌「みんな」 市民活動団体、県内他市支援センターに送付、市役所、公民館、図書館、駅、協力いただいている店舗等で配架。ホームページに掲載している。自治会回覧は年間を通してできなかった。
24号 6月 4500部発行「ファンを増やそう」
25号 9月 4500部発行「まちのお店を応援しよう」
26号 12月 2000部発行「この街でアートを楽しむ」
27号 3月 2000部発行「オンラインの利用を考える」
- ・Facebook イベントの告知（および中止等のお知らせ）、センターのオープン時間などのお知らせなどを行った（いいね！昨年度末713→今年度末762）
- ・ホームページ トップページに「みんなでカレンダープロジェクト」を置き、ホームページを訪れる楽しみをつくとともに、四街道に関わる人「みんなで地域づくり」を表現した。（テーマは、しあわせ）
- ・団体情報 情報シートの様式と更新の流れの見直しを行った（ホームページ団体紹介掲載77団体）
- ・メールマガジン 毎月月末に配信。センター開館時間及び利用方法、企画事業のお知らせなどを掲載した。
- ・福島県からの避難者のために、県から届けられる『福島民報』『福島民友』をセンター入り口に配架した。
- ・チラシ配架 5月7日から移動場所から戻り、チラシ・資料のラック見やすくレイアウトして配架した。
- ・「みんなで地域づくりセンター写真展」を1月12日(火)～18日(月)、そごう千葉店地階通路（そごうギャラリー）で開催し、センターの取り組み、「FOR YOU」動画の写真などを展示した。

成果と課題

- ・「みんな」は、様々な分野の地域の活動や市民の思いを紹介し、この状況下でも「やってみよう」と思っている人たちを間接的に応援することと、センターの活動について知ってもらうことができた。課題は、より多くの市民に手に取ってもらうための配架場所と、発行後、読者にどう伝わりどんな成果が出たかを把握することである。ホームページは、更新の依頼方法について検討を重ねスムーズな更新ができるようになったが、更に工夫してタイムリーに掲載できることを目指したい。

エ、地域づくりを担う主体からの相談に関すること

年間相談件数 47件（平成29年度 67件、平成30年度 59件、令和元年度 69件）

成果と課題

- ・新型コロナウイルスの影響で、センターの休館や使用の制限があったため、相談件数は過去3年と比較して少ない。内容面では、コロナ禍での現状打破のためのデリバリー、ZOOMの活用、子ども食堂への寄付やボランティア参加、レジ袋有料化に合わせた環境に負荷の掛からないものへの対応など、社会の動きに即した相談も多く寄せられている。センターでは、今後も社会や地域の状況への理解を深めて、相談対応できるよう努めたい。

内容の分類	件数	主な相談内容
地域の課題・活性化	13	大雨で行動の水が敷地に流れ込む／コロナ禍の現状打破のためのデリバリー／高齢者向けに ZOOM の使い方講習をしてほしい／発達障害の子どもについての相談場所／障害者スポーツの周知を図りたい／アフタースクールの活動を考えているがよい方法はないか
地域の情報の問合せ	11	子ども支援団体に寄付したいが情報は／玄米があるので子ども食堂で使ってほしい／子ども食堂の提供場所として自治会の集会場を借りるにはどうしたらよいか／その他活動団体の連絡先
その他	11	レジ袋有料化に合わせ環境に負荷の掛からないものに変えたい／シングルマザーのシェアハウスをつくりたい／中学校の公民の授業で自治体の仕事

		を学ぶのでセンターや地域づくりについて聞きたい
IT・パソコン	6	ZOOMの使い方、ホストになる方法/ラインにきた資料の見方、ダウンロード法/自宅のパソコンの音声がでない
活動への参加	3	子ども食堂を視察し共感したらボランティアに参加したい/「みんなで」の記事を読んで、障害のある方のお手伝いがしたい
市民活動団体の運営	3	コラボ四街道の報告書の書き方(市担当職員が対応)/団体の新規立ち上げ事業について知恵を借りたい

オ、コーディネーター業務遂行のための各種講習会の実施に関すること

○「市民活動スキルアップ研修」を実施し、団体の運営力を高める。

・「市民団体の寄付集め」 ～ファンと資金を増やそう～

趣旨、団体の活動に必要な寄付集めの基礎を学び、初めの一步を踏み出すことを目指す

	日時	内容	参加※
1	6月6日(土) 13:30～16:30	講師 関 雄さん(ファンドレイザー) ※2回目も同じ 寄付を集めるということとは? 支援者の集め方、事例紹介	17人 (7人)
2	7月4日(土) 13:00～15:30	ワーク 団体の状況を把握しできることを洗い出す [参加者アンケートより] 1日目 寄付集めのイメージがついた/共感を得ることが大切な理由がわかった。 2日目 寄付集めについて大変さを実感していた。寄付(現金)だけでなく、応援してくれる人や技術、知識も集めることが大切だとわかった/ 寄付集めのツールや知識を知る事ができた/シートを使っのワークは隣の人と話すことで気づきがあった。	21人 (7人)

成果と課題

・年度内に講師による伴走支援をしていただけるとのことで、4団体が相談し2団体が実際に伴走支援を受けた。そのことにより、どちらの団体も実施しようとする事業の整理をすることができた。

今回の講座を通して、団体が資金調達も含めて、団体内での課題整理や課題を共有するにあたり、外部の力が必要であることが感じられた。今後の団体の運営をサポートするときに生かしたい。

・文字と写真で伝える連続ワークショップ「みんなで広報講座」(2回連続)

団体の思いや活動を広く知ってもらうための広報ツールとして、より効果的に伝わる文章作成と写真撮影を学び、団体内のだれもが団体の紹介ができるようになることを目指す。

	日時	内容	参加※
1	1月30日(土) 9:30～11:30 オンライン ZOOMで開催	「伝わるコンパクトな文章」～情報を整理して思いをシンプルに伝えるコツを学び、文章を作成する～(ZOOMで開催) 講師 寺本忍さん((株)地域新聞社・編集部) [参加者アンケートより]回答数7 大変満足4、満足3(合わせて100%) 文章の的確な構成のポイントを教えてもらえた/講座のテーマについての理解が深まった/文章は長ければ良いというものではなくて、想	16人 (6人) うち オン ライ ン 10人

		い、伝えたいことをメリハリをつけて配置することが必要だと気づいた	
2	2月13日(土) 9:30~11:30 オンライン ZOOMで開催	「スマホで撮る伝わる写真」～写真で活動をストーリー化するコツを学ぶ ※オンライン(ZOOM)開催のため、写真撮影は実施できない 講師：宮原恒輝さん(フリーフォトグラファー) [参加者アンケートより] 回答数6 大変満足6(合わせて100%) 前回からの流れを汲んだ講義でわかりやすかった/実際に受講者が撮った写真へのコメントなど、講義を聞いた後だとよく納得できた/目的をもって写真を撮ること、何のためにどのように、活用場面を計画して撮るといこと/5w1hを考え写真を撮ること/事業の中で写真専門にとる人が必要(チャンスを逃さないため)	11人 (5人) うち オンラ イン 10人

成果と課題

・文章・写真の2講座とも、はじめは対面で開催する予定だったが、新型コロナの感染予防のため、オンラインで行うことになった。講師とオンラインでの講座の進め方について打ち合わせをして講座を行ったため、内容が理解しやすく受講者からも高い評価が得られた。

今後はZOOMの使い方に慣れてオンラインの講座に参加する人が増えるよう、サポートしていくことが必要である。

○「コラボ塾」 地域づくりの事業を学びあう場をつくり、みんなで地域づくり事業提案制度「コラボ四街道」による新たな事業・活動などを創出する。

令和2年度 コラボ塾 地域に元気をつくりだす!

	日時	内容	参加※
1	9月3日(木) 9:30~12:00	①コラボ塾の開催主旨について ②公開講座「コロナ禍でのこれからのボランティア活動を考える」 講師 川中大輔さん(シチズンシップ共育企画代表、龍谷大学社会学部講師) ・コロナ禍の中でのボランティア活動は、「人との関りの大(多人数×不特定×密接)小(少人数×特定×距離あり)」と「オンラインとオフライン」を考慮して、活動を組み立てることや、各地での事例が話された。 ・グループに分かれ、それぞれの団体の紹介やコロナ禍での活動をどのように進めて行くか?などのディスカッションを行った。 ③「コラボ四街道」の概要 [参加者アンケートより] 回答数28 満足度：大変満足10, 満足15, 普通3 よかったところ：今回のコロナの中で活動する時の考え方の整理ができた/コロナ禍でもできることはあると思えた/全国のコロナ対策を知ることができた 活動に活かせるヒント：コロナ禍でのレベルに応じた活動の方法を表に整理する/オンラインに慣れている大学生の協力とオンラインの有効活用/正しい対策をすれば、恐れすぎず、活動できることが分かった	39人 (6人)
2	9月17日(木) 9:30~12:00	①昨年度採択団体から事例紹介(応募の動機、実施した活動について)ととて、四街道こどもまちづくりプロジェクト、ちょこっとクラブ ②事例紹介団体との質疑応答 ③四街道の地域課題を出し合おう	24人 (7人)

		地域の課題とその解決に向けて、何が出来るのか？何をどの様にすれば解決するのか？を書き出し、意見交換を実施。次回の3限目のアイデアのたねを掘り起こし、事業の企画へと結びつける。	
3	10月1日(木) 9:30~12:00	①アイデアのたねを掘り起こし、事業を企画しよう ②「コラボ四街道」の申請書の書き方のポイント 5団体から、考えている事業について「課題」「アイデアのたね」、「効果」「市に期待すること」を説明し、参加者による質疑を行った	13人 (5人)
4	10月15日(木) 9:30~12:00	①企画提案書を書いてみよう ②プレゼンをしてみよう 5団体が、事業の企画提案書を作り、参加者の前でプレゼンを行い、参加者全員と意見交換をした。	17人 (6人)
5	令和3年 1月21日(木)	本番直前プレプレゼン 午前1団体、午後7団体、1月28日1団体 (9団体参加/申請10団体中)	参加 9団体

成果と今後の課題

・公開講座「コロナ禍でのこれからのボランティア活動を考える」は、コロナ禍で活動が休止しがちな時期に、この状況の中での活動の進め方の講義は大変有意義であった。

今後の課題として、コラボ塾の参加を促しお知らせするだけではなく、その前に地域の課題を検討する講座を継続的に開催して、解決の手段としてコラボ塾があるという流れをつくる必要があると思われる。

※その他関連事項

令和2年度第2回千葉県市民活動支援組織ネットワーク会議〔協働編〕において、コーディネーターが事例発表を行った。テーマは「コラボ塾」を通じた地域課題の発掘と事業化支援（発表10分）

カ、その他上記遂行のために必要な事項に関すること

・センターのミーティングスペースを団体の会議や打合せ（通常12人前後）に貸出しについて、センター開館時も、人数制限を行い、利用者名簿記入、健康状態をチェック、手洗い、アルコール消毒、マスク着用、着席の際に人と人との間隔をあけることなど、感染予防に留意した。

・大学生インターンシップ（淑徳大学）から、4人参加。8月から「みんなで」編集会議に出席し、各自が紙面を編集する実習を行い、ちばユニバーサル農業フェスタで学生版「みんなで」を展示した。その他、講座の受け付けやアンケートまとめなどの実習を行った。

◆オンラインコミュニケーション支援事業（オンラインコミュニケーション・デジタルデバйд解消支援事業）

目的 新型コロナウイルス感染予防のために、対面でのコミュニケーションがとりにくくなり、孤立しがちな人が増えることが心配される中で、高齢者等の情報格差解消及びオンラインによるコミュニケーションの推進を図るための支援として行う。

・みんなでスマホ・タブレット講座

[初級編] スマートフォン・タブレットを楽しむための基礎知識/安全で簡単な使い方/カメラ機など

[中級編] セキュリティについて/SNSについて(LINEなど)/インターネットの便利な使い方など

	日程	地区	会場	参加者数		スタッフ等
				初級	中級	
1	10/16(金)	北中	文化センター201	21人	18人	8人
2	10/20(火)	千代田中	千代田公民館ホール	20人	18人	5人

3	10/23(金)	西中 A	緑ヶ丘団地集会所	16人	15人	5人
4	10/30(金)	西中 B	鹿放ヶ丘ふれあいセンターホール	14人	18人	5人
5	11/6(金)	四街道中	わろうべの里 食のスタジオ	17人	19人	5人
6	〃 午後	四街道中	〃	14人	16人	5人
7	11/14(土)	一般	文化センター201	19人	22人	5人
8	〃 午後	一般	〃	16人	18人	6人
9	11/17(火)	旭中	旭公民館ホール	16人	18人	5人
10	11/20(金)	北中+一般	文化センター206	22人	20人	5人
11	〃 午後	一般	〃	17人	19人	5人
12	11/24(火)	一般	文化センター201	15人	23人	4人
				207人	224人	
	合計		10月 140人、11月 291人	合計 431人		

・各地区社協への呼びかけを行った後、申込みは地区に限らず受付けた。また、当初の予定 270 人のところ、申込みが多かったため実施回数を増やして増員した。

・初級編 1 時間、中級編 1 時間。講師（+講師サポート）2 名のほか、使い方のサポートするスタッフ等 3～4 名体制で対応した。

〔講座アンケートより〕 回答数 72

・満足度：大満足 43.1%、満足 52.8%、不満・とても不満 4.1%

・難易度：ちょうどよい 79.2%、簡単 15.3%、難しい 9.6%

・感想・わかったこと：とても親切で安心して聞けた/参考になった/検索の仕方/ラジオ機能

・みんなでオンラインコミュニケーション講座（ZOOM 講座）

〔ゲスト編〕ZOOM でできること/の機能(画面共有、チャットなど)

〔ホスト編〕ZOOM でコミュニケーション(仲間を招待する、おしゃべりしよう)

※当初予定 32 人を申し込みが多かったため実施回数を増やして増員した。

	日程	会場	ゲスト編	ホスト編
1	11/27(金)AM	みんな地域づくりセンター	5人	6人
2	追加 PM	〃	6人	6人
3	12/1(火)AM	〃	6人	5人
4	追加 PM	〃	5人	5人
	合計	11月 23人、12月 21人	22人	22人
			合計 44人	

〔講座アンケート集計〕 回答数 24

・満足度：とても満足 45.8%、満足 50%、不満 4.2%

・難易度：ちょうどよい 66.7%、難しい 33.3%

・ZOOM を今後どのように使いたい：家族・友人とのコミュニケーション、会議、受講など

・フォローアップ（相談・サポート）毎週火曜、対面により相談対応およびサポートを行った。

10月 7人、11月 7人、12月 8人、（1月～2月緊急事態宣言等により受付なし）3月 1人 合計 23人

成果と課題

・10月から開催した「みんなでスマホ・タブレット講座」「みんなでオンラインコミュニケーション講座」「フォローアップは、延べおよそ 500 人の市民のみなさんにご参加していただいた。今後、地域づくりの様々な場

面でオンラインでのコミュニケーションが活用されることを期待する。

・特にスマホ・タブレット講座は、非常にニーズが多く、スマホが使い切れていなかった方へのサポートを行い、オンラインコミュニケーションのきっかけとなったと思われる。実施する中で分かったことは、スマートフォンの機種がさまざまであるうえ、躓いているところは機器の操作が大きいので、その部分はスマートフォンの販売事業者にお願いすることがよいと思われる。

・オンラインコミュニケーション講座（ZOOM 講座）は、ZOOM に参加はしたことがあるが使い方はよくわからないという方から、ZOOM は全く初めてという人もいて、「会議をしたい」「おしゃべりを楽しみたい」という目標のもと、熱心に取り組んでいた。センターでは、この講座以外でも、オンライン開催の講座の参加者に向け、ZOOM のサポートを行った。今後も、市民がオンラインの講座や会議へ参加して地域づくりに生かせるよう、サポートを進めていくことが必要と思われる。

3. 全体を通して

コロナ禍の中で地域づくりのコーディネートを進めることについて

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、緊急事態宣言期間だけでなく年間を通して、地域づくりの場面で人の流れを制限しなければならぬことが多くあった。センターは、その中で市民の声を聴き、感染予防に配慮しながらコミュニケーションの場をつくり事業を進めることに努めた。今年度の事業で特徴的なものを取り上げて振り返る。

1. オンラインの活用

- ・ZOOM 座談会「今を語り、明日をつくろう」Ⅰ（5月19日、22日）・Ⅱ（6月9日、12日）

令和元年度末に試行して手応えのあったオンラインの座談会を今年度事業の初めに行い、市民の不安や思い、新しく見えてきたこと、地域でできることなどを聴き意見交換する場をつくった。コロナの影響でみんなが戸惑っている時だからこそ必要なことをやり方を工夫して実施したことが、その後、地域での具体的な取り組みにつながり、またセンター事業のオンラインの活用への弾みとなった。

- ・コラボ塾 地域に元気をつくりだす！ 公開講座「コロナ禍でのこれからのボランティア活動を考える」

（1限目9月3日）

参加者が、コロナの中で活動する時の考え方の整理ができ、活動をすべて止めてしまうのではなく、その活動の意義を考え、必要な活動は対策を取ればできることがあると学ぶことができた。

- ・オンラインコミュニケーション支援事業（10月～3月）

「みんなでスマホ・タブレット講座」「みんなでオンラインコミュニケーション講座（ZOOM 講座）」およびフォローアップを行い、短期間で延べおよそ500人に対してオンライン支援に取り組み、地域のオンラインの状況についても知る事ができた。

- ・センターの事業での活用

年間を通した子どもサポートプロジェクトのミーティングおよび「オンライン子ども支援団体交流会」（7月、3月）や「里山活動交流会」（10月）「みんなで広報講座」（1～2月）、「災害支援ネットワークシンポジウム」（3月）などでオンラインを取り入れ、開催前には、参加者へのZOOM利用のサポートを行った。

今後も実施方法を工夫して地域づくりを進めるとともに、ZOOMの活用などのサポートを行い、市民がオンラインを活用し地域づくりに参加できるようサポートすることが必要だと思われる。

2. 子ども支援の活動

- ・子どもサポートプロジェクトミーティング及び子ども支援団体オンライン交流会（前述）

コロナ禍の中で子どもの状況について情報交換を続け、子ども支援団体のネットワークを図った。

- ・子ども食堂学習会・交流会「子ども食堂における 食中毒と新型コロナウイルス対応～テイクアウトにおける注意～」(7月)

新型コロナウイルス対応について学び、活動メンバーが子ども食堂での対処の仕方を具体的に考えることにつながった。

- ・情報発信

市内の子ども支援団体を掲載した「よつかいどうこどものいばしょさがし」のチラシが7月までには小学校全児童に配布された。公共施設にも配架し、見た人がチラシを持って子ども支援活動への寄付のためにセンターを訪れるなど関心が高まりが感じられた。今後の課題としては、ホームページなどWEBを活用して情報発信して、これまで届かなかった人にも、子ども支援の活動を伝えることが求められる。

3. 災害時のセンターの役割と災害支援ネットワークづくりについて

日常の活動で地域づくりのコーディネートを担うセンターの災害時の役割は、様々な支援の情報をつなぐことであると考え、今年度は災害支援ネットワークづくりを進めてきた。

- ・「みんなで災害支援を考えるつどい」～四街道市に みんなで災害支援ネットワークを！～(8月8日)

弁護士による災害時生活支援についての講演と、「災害支援 あなたの組織ができること」のワークショップを行った後、災害支援ネットワークについて提案し理解を得た。

- ・第1回「みんなで災害支援ネットワーク」ミーティング(11月21日)

「四街道みんなで災害支援ネットワークの会」(事務局 センター)を立ち上げ、情報共有方法や活動内容についての意見交換と、参加団体の活動紹介を行った。

- ・みんなで災害支援ネットワーク オンラインシンポジウム

東日本大震災から10年 被災体験に学ぶ「そしてつなげよう、明日へ」(3月10日)

災害に備えて、日ごろから人とのつながりやネットワークが必要であることの理解を深めた。

- ・ネットワークへの参加呼びかけで多様な団体が参加

参加団体(今年度末時点 36 団体) NPQ・市民団体(障害者支援、国際交流、ペット飼育、食、子ども支援、私設図書館、朗読、レクレーション、音楽、里山活動)、企業、商店、医療、生協、盲学校、自治会、避難所運営委員会、社会福祉協議会、民生委員など。

今後も情報交換の場の提供や、他地域の事例紹介を行ってネットワークへの参加を呼びかけるとともに、非常時の情報集約と発信ができるよう備えておくことが必要である。

4. ちばユニバーサル農業フェスタ 2020in 四街道の開催コーディネート(12月5日)

新型コロナウイルスの影響で他のイベントの中止が続く中、大きなテーブルの福祉団体が中心となって実行委員を担い、「屋外・飲食なし」とし感染予防対策もとって開催。農業や福祉団体の製品と活動の紹介をして、出展する団体同士や来場者と交流する場をつくることができた。

次年度も、福祉団体の連携の力を生かして、大きなテーブルやユニバーサル農業フェスタを開催し、福祉団体が地域の団体とつながること、さらに多様な団体同士がと交流し連携して地域づくりをすることを目指していきたい。

5. 令和3年度に向けて

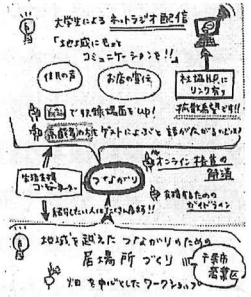
今後も新型コロナウイルスの影響で困難な状況が続くと思われるので、令和2年度の経験を活かしつつ、一つ一つの事業の目的を考え、必要とされる事業について、オンラインの活用など方法を工夫して、できる形で進めていくことが大切だと思われる。

また、地域の様々な課題に対して、子ども支援団体のネットワーク、災害支援ネットワーク、そして福祉団体の連携など、分野や業種を超えたつながりを生かして地域づくりを進めていくことが必要と思われる。

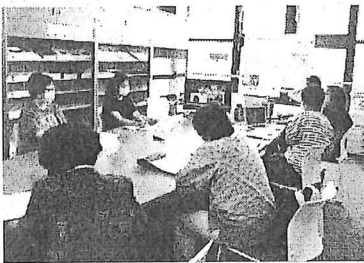
さらに、市の施策や制度、活動事例などから地域課題を学び、解決について考え合う場を継続してつくり、行政、関係機関とも連携・協働して、地域づくりの取り組みが進められるようコーディネーターとしていきたい。

令和2年度四街道市地域づくりコーディネーター業務委託事業報告（写真編）

ZOOM 座談会～今を語り、明日をつくろう～ I・II



子どもサポートプロジェクト
ミーティングと交流会



子ども食堂交流会・学習会
「新型コロナウイルス
対応と食中毒」

ユニバーサル農業フェスタで
子ども支援活動アピール



中高生の
オープンスペース
RAKU まある



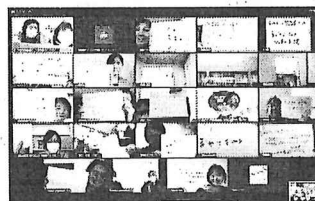
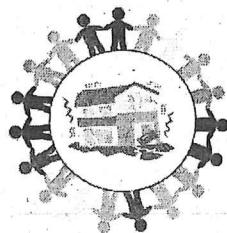
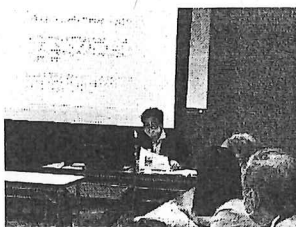
子ども支援団体オンライン交流会



子ども見守りサポーター養成講座
～ネモネット 生きているだけでOKな居場所～



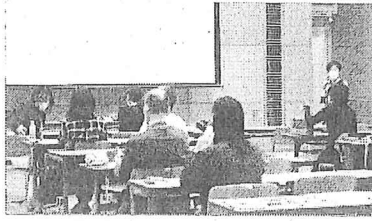
災害支援ネットワークづくり
左3枚「みんなで災害支援を考えるつどい」8月
下「みんなで災害支援ネットワーク」ミーティング11月
右4枚 東日本大震災から10年 被災体験に学ぶ
「そしてつなげよう、明日へ」3月



地域づくりサロン
「シェアハウス生活のすすめ」



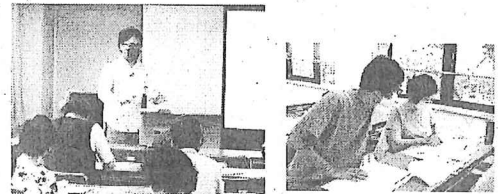
地域づくりサロン
「まちに溶けもむアート活動
～だれでも参加できるアートでまちづくり～」



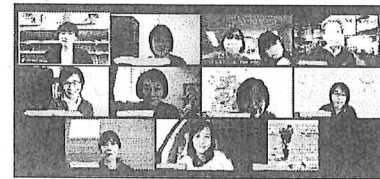
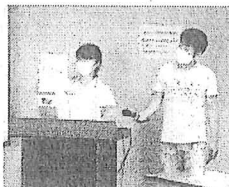
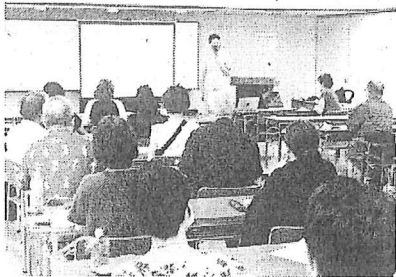
里山保全団体交流会
北総クルベジ活動紹介



市民活動スキルアップ講座
「市民団体の寄付集め」(2回連続)



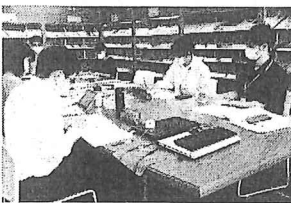
コラボ塾(全5回)
公開講座「コロナ禍でのこれからのボランティア活動を考える」



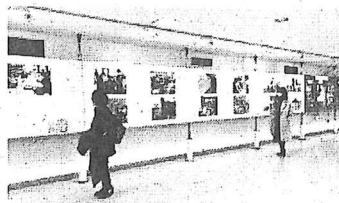
広報講座(2回)
①伝わるコンパクトな文章
②スマホで撮る伝わる写真



大学生インターンシップ



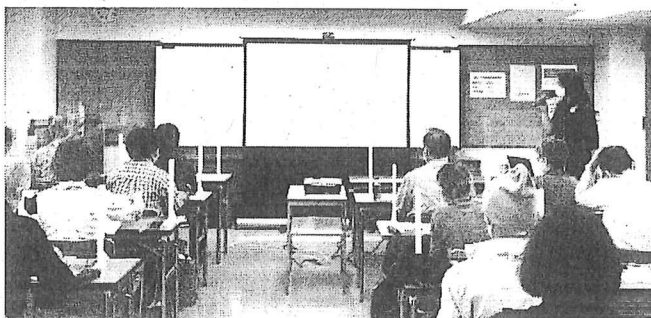
みんなで地域づくり写真展
(於 そごう千葉店)



ちばユニバーサル農業フェスタ 2020in 四街道



○オンラインコミュニケーション支援事業



①スマホ・タブレット講座
初級+中級×12回)



② ZOOM 講座
(ゲスト編+ホスト編×4回)



令和2年度 みんなで地域づくりセンター業務スケジュール

★は市政日より掲載予定

2020.3

地域課題への取組みのプロデュース 地域づくりを担う主体のネットワーク 地域づくりサロン 多様な人や団体が地域づくりに参加				各種講習会・企画事業				情報の収集、把握、発信				相談対応	その他		オンラインコミュニケーション支援									
センター運営	子どもサポートプロジェクト RAKUKU 中高生スペース 子ども支援団体交流会	居場所づくり	まち活動	大きなテーブルユニバーサル農業フェスタ/里山活動	夏休み小学生ボランティア	災害対応/災害支援ネットワーク	ZOOM座談会	コラボ塾	団体の力を高める 資金調達	運営力講座 広報スキル	団体情報	情報コーナー/センター展示	情報誌「みんなで」	HP ◎マルチメディア □ブログ ○FB △	みんなでカレンダー	随時日調整 随時調整	インターンシップ	職場体験/その他	みんなで×○○する	スマホ・タブレット	コミュニケーション	フォローアップ		
4月	旧レストラ (オンライン活用)		4/19		受入団体募集						団体情報更新		◎ □ ○ △											
5月	緊急事態宣言	5/12 (第2火)					5/19 22 ZOOM座談会I		★ 5/15 スキルアップ			(引越後 チラシ配架)	◎ □ ○ △											
6月		6/9		★ 6/15 6/26 7/7 大きなテーブル		★ 6/15 市バス 見学中止	6/9 12 座談会II	寄付集 め①6/ 20講 義	広報講 座①			みんな で24 号	◎ □ ○ △											
7月		7/14 28 子ども支援 団体オン ラインミ ーティング				夏ポ ラ		②7/4 ワーク +個別 相談	広報講 座②				◎ □ ○ △											
8月		8/4 シェア ハウス 講座			夏ポ ラ	8/8 災害支 援つど い	★ 8/15 コラボ 塾	(講師 伴走支 援)					◎ □ ○ △			8 11 18 25 26								
9月	9/3 自治会 情報	9/5 子ども食 堂交流 会・学 習会		(ユニ バーサ ル実行 委) ↓	ま とめ 小学 校へ 報告		①9/3 公開講 座 ② 9/17					みんな で25 号	◎ □ ○ △										★10/1号	
10月		10/13 O	10/ 20 RAK U ま あ る	10/ 11 ア ー ト 講 座	10/8 里山 団体 交流 会(オ ン ラ イ ン)		③ 10/1						◎ □ ○ △									10/ 1 6 20 23 30	10/ 27 30	
11月		11/10 O ★ 11/15 号	11/ 17 (R)		★ 11/15 号		11/ 21 ネ ッ ト ワ ー ク ミ ー テ ィ ン						◎ □ ○ △									11/ 6 14 17 20 27	11/ 1 0 17	
12月		12/22 見守り サポ ーター 講座 ネモ ネット	12/ 15 (R)		12/5 ユニ バー サル 農 業 フェ スタ		12/21 (県 ネ ッ ト ワ ー ク 会 議) 事 例 発 表					地域 づく り 写 真 展 ご う	みんな で26 号	◎ □ ○ △								12/ 1 1	12/ 4 8	
1月	1/ 9	1/11 O					⑤ 1/21 プレ ゼン		1/ 30 広 報 文 章			1/1 2~ 18	◎ □ ○ △											
2月	緊急 事態 宣言	2/11 O				2/2 5合 同 研 修 参 加			2/ 13 写 真 講 座				◎ □ ○ △											
3月	3/ 3/ 21	3/13 子 ども 支 援 団 体 オ ン ラ イ ン 交 流 会			3/29 福祉 × 地 域 づ く り 講 座 (協 力)	3/7 事 例 発 表 3/1 0シ ン ポ				団体 情報 更新		みんな で27 号	◎ □ ○ △		▽	▽							##	

令和3年度 四街道市地域づくりコーディネーター業務委託事業計画

四街道市みんなで地域づくりセンター

受託団体 特定非営利活動法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ

代表理事 牧野 昌子

業務責任者 勝又恵里子

ア.地域課題への取組みのプロデュースに関すること

イ.地域づくりを担う主体のネットワークに関すること

○市民の意見交換や情報交換の場「地域づくりサロン」や地域づくりをテーマとした講座、相談への対応などから、地域課題への取組みにつなげます。

○市民、団体、事業者や、またその地域づくりの活動が、分野や業種を超えてつながり、行政、関係機関とも連携・協働して、地域の課題解決ができるようコーディネートします。

○市民の主体的な地域づくりへの参加を促し、多様な人や団体が地域づくりに参加する企画を実施します。

・市の施策や制度、活動事例などから地域課題を学び、解決について考え合う場を継続してつくり、地域づくりの取り組みが始められるようサポートします。

・自治会情報交換会を開き、地域の高齢化の中での困りごとや自治会の運営について話し合う場をつくります。(コロナの状況下で開催が難しい場合は、オンラインでの会合を試行し、自治会での活用をサポートします)

・四街道市地域支え合い推進会議に参画し、地域包括支援センターをはじめ、関係機関と協力します。

・市内在住外国人について支援団体と連携し、災害時の支援などについて検討します。

・子どもを取り巻く環境の課題に対して、子ども支援団体のネットワークをさらに進め、行政や関係機関とも連携して支援ができることを目指します。

・災害時のセンターの役割を考え、災害支援ネットワークづくりを進めます(平常時から困ったときに声を掛け合えることを目指します)

・アートを活かしたまちづくりについて、具体的なアクションに向けてアイデアを出し合い実施します。

・「大きなテーブル」は福祉施設の紹介・販売のみでなく、他団体、他事業者、市民とのつながりをつくることを目指します。大きなテーブルは、春は6月と、秋はユニバーサル農業フェスタで開催します。

・ちばユニバーサル農業フェスタを地域の連携を進める事業としてコーディネートします。

ウ.地域づくりの情報の収集、把握、共有及び提供に関すること

・情報誌「みんなで」を年4回発行し、より多くの市民に地域づくりの情報を届ける工夫をします。

・ホームページ、ブログ、メール、Facebook、ツイッター、インスタグラムなど、対象により、効果的な方法を選択して発信をすします。

・ホームページのトップページに「みんなでカレンダープロジェクト」を置きます。

・団体基本情報をホームページで公開し、市民の関心と理解を深め活動への参加につなげます。

・センターに来た人が、地域づくりに役立つ情報が得られるよう展示内容や方法を工夫します。

・オンラインによる新しい情報発信やコミュニケーションの方法の活用を進めます。

エ.地域づくりを担う主体からの相談に関すること

- ・相談は常時受け、オンライン活用についても検討します。会計相談は日程調整をして対応します。
- ・市役所の各担当課および関係機関と連携して相談対応にあたります。
- ・市の施策・制度や地域課題などについて学び、相談対応力を高めます。また、団体運営に関する相談に対応できるようにするため、コーディネーター等が研修会などで学ぶ機会を持ちます。

オ.上記業務遂行のための各種講習会の実施に関すること

- ・市の施策や制度、活動事例などから地域課題を学び、解決について考えあう講座を開催、民間の助成金等の活用を学ぶとともに「コラボ四街道」も含め地域づくりへの活用をサポートします。
- ・市民活動団体の運営力を高める講座、スキルアップ・ワンポイント講座などを開催します。
- ・「みんなで×〇〇する」など、身近なテーマで参加者が交流し学び合う機会をつくります。
- ・地域づくりに関する講座、見学会などを企画実施します。

カ.その他上記遂行のために必要な事項に関すること

- ・視察・職場体験、インターンシップなどの受け入れを行い、地域の学校との連携を図ります。
- ・「気軽に来られる、来てよかったセンター」を目指して、センターの運営を工夫します。
- ・コロナ禍での新たな課題に対して、団体や関係機関とも連携してコーディネートを進めます。

令和3年度 みんなで地域づくりセンター業務スケジュール

★は市政だより掲載予定

	地域課題への取組みのプロデュース 地域づくりを担う主体のネットワーク						各種講習会		情報の収集、把握、発信				相談 対応	オン ライ ン コ ミュ ニ ケー ション 支 援	その 他			
	分野・業種を超えた地域資源のつながり・連携						地域課題を知って解 決を考える	地域づくり の情報提 供	効果的な方法を選択									
	自治 会情 報交 換会	支え 合い ／ 高 齢 者 支 援	市 内 在 住 外 国 人 と の 共 生	子 ど も 支 援 ネ ッ ト ワ ー ク	ア ー チ ト に 活 と 動 け こ む	大 き な テ ー プ ル ／ ユ ニ バ ー サ ル 農 業 フ ェ ス タ	災 害 支 援 ネ ッ ト ワ ー ク (普 段 か ら 声 を 掛 け 合 え る 関 係 づ り)	地 域 課 題 学 習 会 (市 の 施 策 ・ 事 例 か ら 学 ぶ) ～ ま ち の 出 来 事 を 自 分 ゴ ト に ～ 「 ミ ン ナ の コ ト 」 助 成 金 活 用 (コ ラ ボ 四 街 道 サ ポ ー ト)	ス キ ル ア ッ プ ・ ワ ン ポ イ ン ト 講 座 ／ み ん な で × 〇 〇 す る	団 体 情 報	地 域 づ り 情 報 ／ セ ン タ ー 掲 示	情 報 誌 「 み ん な で 」 年 4 回 発 行	HP ◎ プ ロ グ 〇 FB △ ツイ ッ タ ー ▼	み ん な で カ レ ン ダ ー	随 時 会 計 は 日 程 調 整	ZOOM 会 議 支 援 な ど	イ ン タ ー ン シ ッ プ	
4月	(オン ライ ン 試 行)				(アイ デ ア 話 し 合 い)	4/17商 品 の 価 値 を 伝 え る デ ザ イ ン	(ネ ッ ト ワ ー ク づ り)			団 体 情 報 更 新			◎ 〇 △ ▼				各 事 業 で 必 要 に 応 じ て サ ポ ー ト	
5月	(自 治 会 の サ ポ ー ト)					★5/15		★5/1 ミ ン ナ の コ ト A.災 害 支 援 の コ ト 5/20障 害 の あ る 方 の 支 援					◎ 〇 △ ▼					
6月				★6/15		大 き な テ ー プ ル 6/12 ※1日、 屋 外		B.認 知 症 の コ ト 6/22①認 知 症 を 知 ろ う	○		28号	◎ 〇 △ ▼						
7月				子 ど も 支 援 団 体 交 流 会				B.認 知 症 の コ ト 7/27②講 演 会 ・ 交 流 会 「 認 知 所 の 人 を サ ポ ー ト す る に は 」	○			◎ 〇 △ ▼						
8月							講 演 会 ・ 支 援 の 事 例 ネ ッ ト ワ ー ク づ り	B.認 知 症 の コ ト 8/24③地 域 で で き る こ と	○			◎ 〇 △ ▼						○
9月	ZOO Mで 会 議				★ 9/1 5			助 成 金 活 用 (コ ラ ボ 四 街 道 含 む) 取 り 組 み に つ な げ る サ ポ ー ト を 継 続	○		29号	◎ 〇 △ ▼						
10月				バ ス 見 学 (東 葛 の 子 ど も 食 堂)	10/ 30 ア ー ト 企 画				○			◎ 〇 △ ▼						
11月				★11/15		★11/15 ユ ニ バ ー サ ル 農 業 フ ェ ス タ	パ ネ ル デ ィ ス カ ッ シ ョ ン		○			◎ 〇 △ ▼						
12月				見 守 り サ ポ ー タ ー 養 成 講 座					○		30号	◎ 〇 △ ▼						
1月									○		(そ ご う 展 示)	◎ 〇 △ ▼						
2月				子 ど も 食 堂 学 習 会					○	▽		◎ 〇 △ ▼						
3月									○	団 体 情 報 更 新	31号	◎ 〇 △ ▼	▼	▼	▼			

資料 2

みんなで地域づくり事業提案制度（コラボ四街道）実施事業一覧（令和2年度実施）

	団体名 (代表者氏名)	事業名	事業概要	新規 継続		事業 部門		要望額 (事業総額)	担当課
				新	継	拠	地		
1	てとて〜つながる支援の輪 (後藤 裕紀)	発達に課題を抱える子供へ理解と支援が出来る地域づくり	発達に課題を抱える子供を持つ家族や支援者を対象にした専門家や有識者による講演会等を開催し、地域に主体的に考え行動が出来る市民を増やす。またインクルーシブを目的とした子供たちの体験教室を企画・開催し、体験教室を通じ参加者同士が関わり方を学ぶことで、発達に課題を抱える子供やその家族が住み易い地域を形成する。	○	○	○	19	344,000 (385,300)	障害者支援課
2	食を通して四街道を元気にする会 (島田 佳代)	地産地消で美味しいものめぐり	地場生産物の生産場所や販売所、市内レストラン、市内地域活動団体の食堂やレストランを網羅したグルメマップを作成し、四街道市を案内する。	○	○	○		295,000 (328,529)	産業振興課
								639,000 地: 639,000 拠: 0	

【新規・継続】新…新規事業、継…継続事業（○数字は本制度への申請回数） / 【事業部門】拠…拠点づくり部門、地…地域づくり部門、19…アンダー19部門

コメントシート

委員氏名： _____

	団体名	コメント
1	てとて〜つながる支援の輪〜	
2	食を通して四街道を元気にする会	

事業報告書類

てとて～つながる支援の輪～

コラボ四街道まとめ。

団体名	てとて～つながる支援の輪～
事業名	発達に課題を抱える子供へ理解と支援が出来る地域づくり

事業部門	地域づくり	部門
担当課・関係課	障害者支援課	

事業内容	<p>事業の詳細な内容（実施日、参加者数、会場、スケジュール等）や市、関係機関との役割分担や関わり等について記載。資料が多い場合は別途添付。</p> <p><u>専門家による講演会の開催</u></p> <p>9/9(水)わろうべの里創作のスタジオにて「特別新教育ってなんだろう？わが子の就学先の選び方」という演題で、淑徳大学の松浦俊弥教授による講演。コロナ対策により募集人数を少なめにして開催し参加者は9名。添付資料【資料1～3】を参照ください。</p> <p>配布したチラシ【資料1 9月9日特別支援教育ってなんだろうチラシ】 アンケート【資料2 9月9日特別支援教育ってなんだろうアンケート】 報告【資料3 9月9日特別支援教育ってなんだろう報告書】</p> <p><u>森×アート（アートイベント①）</u></p> <p>11/7(土)四街道プレーパークどんぐりの森にて、たまあーと創作工房代表のこまちだたまおさんを講師に迎えアートイベントを開催。みどりいろをテーマに「色の3原色+白」を使って色づくりの楽しさを教わります。 2回に分け10名ずつ参加しました。</p> <p>配布したチラシ【資料4 11月7日みどりのまどからみえるもの チラシ】 報告【資料5 11月7日みどりのまどからみえるもの 報告書】</p> <p><u>木工×アート（アートイベント②）</u></p> <p>3/7(日)四街道プレーパークどんぐりの森を会場に木工イベント開催。初めてでも切りやすいすのこを使ってラックづくりをしました。お父さんが参加してくれそうな内容にしました。 参加者は4家族8名。</p>
------	--

事業費総額	予算	385,300 円	決算	385,300 円
補助金額	予算	344,000 円	決算	344,000 円

事業成果	事業実施した結果、得られた成果や効果を、数字等を交えて記載
	<p><u>専門家による講演会の開催</u></p> <p>9/9(水)の講演会は、進学先を考える時期に合わせて開催し新1年生になる子をもt保護者を対象に参加して頂きました。講師の淑徳大学松浦教授に様々な現場の現況そして真実を伝えて頂きました。座談会では参加者一人ひとりが講師に質問し丁寧に応えて頂き、悩みの解消、将来への行動のきっかけに大きく貢献できたのではないかと思います。</p> <p>9月9日 9名 わろうべの里</p> <p>【添付資料】</p> <p>資料1 9月9日特別支援教育ってなんだろうチラシ 資料2 9月9日特別支援教育ってなんだろうアンケート 資料3 9月9日特別支援教育ってなんだろう報告書 2020 活動報告書</p> <p><u>森×アート (アートイベント①)</u></p> <p>11/7(土)四街道プレーパークどんぐりの森にて、たまあーと創作工房代表のこまちだたまおさんを講師に迎えアートイベントを開催。「色の3原色+白」を使ってたくさんの色を作りました。テーマは「みどりいろ」でしたが、子どもたちは自然の中から色々なみどりいろを探し、講師のもとに「この色を作りたい」とイメージした色を作ってもらっていました。できた作品は四街道プレーパークどんぐりの森の小屋の一部になりました。</p> <p>市政だよりでも募集していただき参加者は20名。コロナ対策として2回に分け10名ずつ参加して頂きました。</p> <p>【添付資料】</p> <p>資料4 11月7日みどりのまどからみえるもの チラシ 資料5 11月7日みどりのまどからみえるもの 報告書 2020 活動報告書</p> <p><u>木工×アート (アートイベント②)</u></p>

	<p><u>自然観察教室（お散歩イベント）</u></p> <p>自然の中で子ども同士の関わりや外で過ごす楽しさを伝えるため、外遊びイベントを開催。暖くなる時期に開催することで草花や生き物にも出会えそうな時期にしました。1 回目は幼児も参加可能なコース、2 回目は長めのコースで小学生のみの内容にしました。</p> <p>開催日と参加者（子どもの参加者数）</p> <p>2月23日 11名 3月14日 11名</p> <p><u>すきなことであそぼう</u></p> <p>春休みを楽しく過ごすため、春休み入ってすぐの3/25(木)に開催。大学生のボランティアを募り、子ども・学生・大人も一緒になって遊びます。年齢関係なく思いっきり身体を動かして遊びました。参加者は31名。</p> <p><u>活動記録や広告媒体としての動画撮影</u></p> <p>1年間の活動の様子を動画にてまとめ、ホームページに掲載しました。視聴は下記URLのホームページの方からご確認ください。 https://www.milestone-yotsukaido.jp/</p>
<p>事業内容変更</p>	<p>軽微なものを除き、当初予定していた事業の内容に変更があった場合は、その内容と理由を記載</p> <p>新型コロナウイルス感染症、天候によるイベントの中止と変更をしました。</p> <p>【中止】</p> <p>料理教室（新型コロナウイルス感染症による中止） 農業体験教室（雨天による中止） 9月頃予定していた佐久間氏によるコミュニケーションスキル講座は、淑徳大学の学生も参加予定でしたが、新型コロナウイルス感染症により大学が休校のため中止。</p> <p>【変更】</p> <p>ラクロス教室をすきなことであそぼうに変更。 室内から外遊びに変更しました。</p>

	<p>参加者は 31 名。</p> <p>【添付資料】 2020 活動報告書</p> <p><u>活動記録や広告媒体としての動画撮影</u></p> <p>1 年間の活動の様子を動画にてまとめ、ホームページに掲載しました。視聴は下記 URL のホームページの方からご確認ください。 https://www.milestone-yotsukaido.jp/</p>
<p>事業の課題、担当課との関わり等</p>	<p>事業全体を通して、改善点や今後の課題、担当課との関わり等について記載。</p> <p>【事業の課題】</p> <p>2020 年度は新型コロナウイルス感染症の関係で、特に室内のイベントに関しては人数を少なめにしたため、大きく広報はしませんでした。「特別支援教育ってなんだろう」という講演内容は毎年開催しても必要な人はいると思うので、他のイベントに関しても本当に必要としている人に届けたい情報が、届けられるように工夫が必要と思います。また新しい参加者を増やしていくためにも SNS を利用した発信、募りたい参加者が多く行き交っている居場所、コミュニティなど積極的にアプローチして行きます。</p> <p>【担当課との関わり】</p> <p>障害者支援課に足を運ぶ機会を逃してしまいました。コラボ四街道事業は 2020 年度をもって終了しますが、団体活動は続けていきますので、活動内容などお伝えできる機会があれば伺いたいと思っています。</p>
<p>今後の事業展開</p>	<p>成果や課題等を踏まえた今後の事業展開について記載</p> <p>新型コロナウイルス感染所の拡大により、イベントをどのように進めたらよいのか、場所は使えても不安の方が強く、しばらくは動けませんでした。動こうと思ってもいつ開催できなくなる可能性もあったので、大きく告知や広報活動もできなかったです。</p> <p>「専門家や有識者による講演会の開催」については、令和元年度 2 月に開催した内容を 9 月に開催しました。9 月にすることでこれから進路を決める前に正確な情報を保護者にお伝え出来ます。保護者がきちんと理解し</p>

3/7(日)四街道プレーパークどんぐりの森を会場に木工イベント開催。初めてでも切りやすいすのこを使ってラックづくりをしました。お父さんか参加してくれそうな内容にし、参加した4家族すべての家庭がお父さんも参加してくれました。木工イベントはお父さんが大活躍で子どもたちに声を掛けながら関わっている姿が見られました。

参加者は4家族8名。

【添付資料】

2020 活動報告書

自然観察教室（お散歩イベント）

自然の中で子ども同士の関わりや外で過ごす楽しさを伝えるため、外遊びイベントを開催。

知っている子も知らない子も一緒に時間を過ごすことで、短い時間でも仲良くなれました。

2月はたろやまの郷～小名木川、3月は千代田～佐倉方面まで歩きました。お散歩イベントではよつグルメ研究会とコラボし、よつぼくんクッキーを販売しました。

開催日と参加者（子どもの参加者数）

2月23日 11名

3月14日 11名

【添付資料】

2020 活動報告書

すきなことであそぼう

春休みを楽しく過ごすため、春休み入ってすぐの3/25(木)に開催しました。場所は四街道プレーパークどんぐりの森で開催。大学生のボランティアを募ったところ4名の学生が参加してくれました。また幼児から中学生まで申し込みがたくさんありました。子どもたちも子ども・学生・大人も一緒になって遊びます。鬼ごっこ・ドッチボールをメインに開催中は好きなことでも遊びました。年齢関係なく思いっきり身体を動かしました。大学生が子どもたちに向き合ってくれたたくさん関わってくれました。

た上でわが子の就学先を決めることが大切だと思いました。

アート教室では四街道プレーパークどんぐりの森を会場とし、福祉関係団体と関わりのある方を講師に迎え開催しました。自分が感じるままに絵を描き、色の3原色+白を使って色を作る楽しさを教えてもらいました。好きな場所で自由に描くことで、一人ひとりが自分のペースで進められるイベントになりました。

木工の方は親子で協力して棚を作りました。保護者が参加することで、いろいろな子がいることも知ってもらう機会にもなり、また保護者同士の交流にもなりました。子育てにおいて保護者の理解がとても大切なので今後も保護者が参加しやすいようなイベントを企画していく予定です。

おさんぽイベントは、新型コロナウイルス感染症でいつも通り学校生活を送れない子どもたちにとって気分転換にもなり、子ども同士の交流など、とても良いイベントだったと感じています。子どもたちからも楽しかったとの声をいただき、保護者からもこのように過ごすことができ良かったとの声を聞くことができました。

すきなことをしてあそぼうイベントは、淑徳大学の学生をボランティアに迎え春休みに開催。大好きなドッチボール、鬼ごっこを中心にやりたいことをそれぞれが楽しめる環境を作りました。日程を春休み平日にすることで、多くの参加申し込みがあり、幼児から中学生までの異年齢交流ができました。たくさんいることで発達の凸凹が目立たなくなり、できない子へのフォローが子ども同士の中で生まれ、やってよかったと思えるイベントでした。大学生の関わりもよくイベント終了後もしばらく遊んでいく子が多くみられました。

本事業を開始し2年に渡って活動を行ってきました。継続することで「発達に課題を抱える子供に対して、地域で理解や関心を深める」という目的や必要性を主催者だけでなく参加者も同じように思ってくれていたと感じることができました。

また発達に課題があるお子さんがいる家庭へのアプローチはとても難しいと思いますが、参加者が輪を広げてくれ新しい出会いもありました。子どもたちのイベントは発達に課題がある子でも参加しやすいように、できる限り工夫して開催することでインクルーシブな環境の創出につながったと思います。参加者からも好評でお子さんの気になることなどの会話も自然と話すことができ、親同士のコミュニティの場の創出ができました。

令和2年度は常に新型コロナウイルス感染症のことを考えていましたが、その中でも外での交流を中心に活動できたと感じています。

今後も同じように講演会やイベントなど企画していきますので、参加者

	<p>の募集の仕方を再考する必要があると感じました。</p> <p>2年間のコラボ事業を終えたくさんのつながりを持つことができました。今後も活動していきますのでどうぞよろしくお願いいたします。</p>
--	--

<p>担当課のふりか えり</p>	<p>(障害者支援課)</p> <p>事業のリーフレットを窓口に設置することにより、障害児を持つ親、発達相談等に訪れる市民に効果的に広報することができました。また、リーフレットを介して活動を紹介することができ、当課で把握している障害福祉事業所や施設の関係者等との関わりが広がることが期待されます。</p> <p>今後は、広報物の設置等のほか、後援をすることで活動支援ができると考えます。</p>
-----------------------	---

<p>みんなで地域づくり推進委員会のコメント</p>	
----------------------------	--

※その他アンケート等がある場合は別途添付してください

[写真添付]

みんなで地域づくり事業収支決算書

事業名	発達に課題を抱える子供への理解と支援ができる地域づくり
団体名	てとて～つながる支援の輪～

【収入】

(単位：円)

項目	予算額	決算額	差額	具体的な内容
市補助金	352,000	344,000	△8,000	
参加費	19,500	37,500	18,000	
自己資金	22,500	3,800	△18,700	
収入合計	394,000	385,300	△8,700	

【支出】

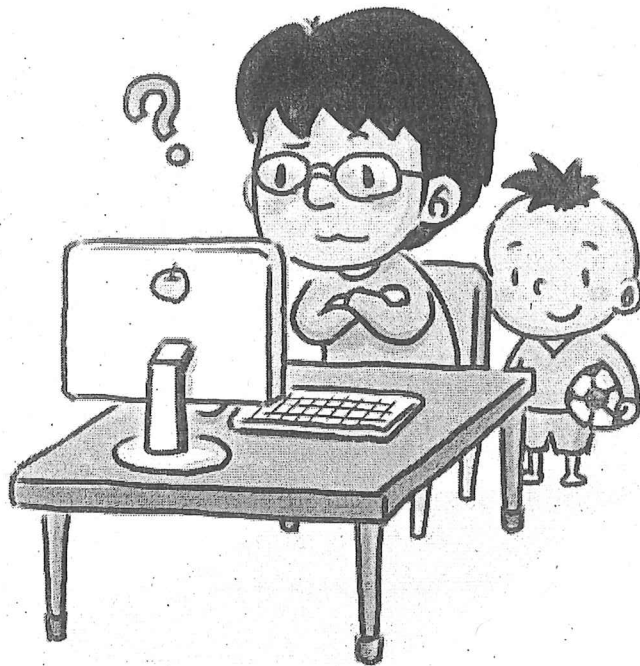
(単位：円)

項目	予算額	決算額	差額	具体的な内容	
対象経費	使用料および賃貸料	17,000	14,640	2,360	【講演会会場費】 9/9：1,640円 【イベント会場費】 アート教室 11/7：5,000円 3/7：5,000円 3/25：3,000円
	印刷製本費	33,000	31,000	2,000	【活動報告書】 3/27：14,390円 【当団体チラシ】 3/2：16,610円
	需用費	102,500	97,012	5,488	【消耗品】 11/6,11/17,11/20：2,970円(文具) 1/5,3/7：20,465円(インクカートリッジ2個) 2/26：4,078円(コピー用紙・文具) 3/7：6,980円(ビブス) 3/6,3/7：18,216円(木工) 【体験教室：アート材料費】 10/10,10/11：17,476円 【スポーツ教室】 3/13：4,167円(救急箱、包帯、軟膏、バンドエイド等) 3/7：3,990円(ドッチボール)

					3/7 : 2,992 円(ソフトバレーボール) 3/7 : 5,980 円(バドミントンラケット・シャツル) 3/7 : 9,980 円(タープ) 3/13 : 2,376 円(シート)
	委託費	120,000	120,000	0	【イベントチラシデザイン】 2/1 : 20,000 円 【映像制作費 (記録用動画)】 2/1 : 100,000
	保険料	7,000	5,000	2,000	4/1 : 5,000 円
	新聞図書費	20,000	20,130	△130	2/8 : 20,130 円
	報償費	94,500	94,500	0	【講師謝礼金・1 松浦先生】 30,000 円 x 1 回 = 30,000 円 【講師謝礼金(体験教室)】 11/7 : 32,000 円 x 1 回 = 32,000 円 2/23,3/14 : 5,000 円 x 2 名 x 2 回 = 20,000 円 3/7,3/25 : 5,000 円 x 2 回 = 10,000 円 【有償ボランティア費】 9/7 : 500 円 x 3 人 x 1 回 = 1,500 円 (講演会) 11/7 : 500 円 x 2 人 x 1 回 = 1,000 円 (体験教室)
	小計	394,000	382,282	11,718	
対象外経費	手数料	0	3,018	△3,018	送料 3,018 円
	小計	0	3,018	△3,018	
	支出合計	394,000	385,300	8,700	



特別支援教育って なんだろう？



講師：松浦 俊弥
(滋賀大学 総合福祉学部 教育福祉学科 教授)

わが子の就学先の選び方

特別支援教育について学ぶ講座を開催します

と き：9月9日（水）11：30～12：30 ところ：わろうべの里・創作のスタジオ

対 象：来年度お子さんの特別支援教育を考えている保護者
 ※対象者以外の保護者も定員に満たない場合は可（参加できる場合は前日に連絡）
 定 員：先着10名
 内 容：特別支援「学級」と特別支援「学校」の違い
 特別支援教育卒業後の進路の現状
 特別支援教育についての話
 ※講座終了後、14時まで参加者同士で就学に関する情報共有の時間を設けます。
 必要に応じて軽食などご持参ください。
 ※マスクの着用など感染症対策にご協力をお願いします。
 参加費：1人500円（小学生以下、無料）

申し込み・問い合わせ・・・9月2日（水）～7日（月）に、てとて～つながる支援の輪～（後藤）に電話またはメールでお申し込み
 ☎090-4520-5804 ✉tetote.yotsukaido@gmail.com ※本事業は、コラボ四街道探択事業です（担当）政策推進課

【資料2】

イベント報告書

2020年9月9日

(1) 概要

名 称	特別支援教育ってなんだろう？わが子の就学先の選び方
講 師	淑徳大学 教授 松浦俊弥氏
日 程	2020年 9 月 9 日 (水) 11:30~12:30
場 所	四街道市南部総合福祉センターわろうべの里 創作のスタジオ
概 要	特別支援「学級」と特別支援「学校」の違い、特別支援教育卒業後の進路の現状、特別支援教育についての話
目 的	○長年現場教育を経てきた淑徳大学教授松浦俊弥先生のお話を伺うことで、参加者が新たな知見を見出し、確かな判断基準を持ち帰っていただきたい。 ○子どもの発達に関することで参加者同士が身近な課題の解決や改善・就学に関する情報共有の場 ○講師と参加者による質疑応答の場

(2) 報告事項

内 容
<p>「みんなに知ってほしい特別支援教育」</p> <p>演題にもある特別支援教育。特別支援教育とは「一人ひとりに応じた」というのがキーワードです。一人ひとりの能力を最大限に伸ばす・最大限に活かすというのが特別支援教育だそうです。</p> <p>お子さんがどこで特別支援教育を受けるのかとても大事な選択になってくる。特別支援教育を受けらうえで本人・保護者の意見を最大限に尊重する（それが絶対ではない）</p>

昨年度は2月に同様の講演会を開催しましたが、今年度は9月に開催することで就学先を決めるきっかけになってほしいと思い早めに企画しました。

◇アンケート集計 9名/9名

- ① 【性別】 男性1名 /女性7名
- ② 【ご職業】 専業主婦7名 /福祉関係1名 /その他1名
- ③ 【お住まい】 四街道市8名 /千葉市1名
- ④ 【ご参加に至ったきっかけ】 知人の紹介5名 /市政だより4名
- ⑤ 【お子さんの就学状況】 これから就学する9名
- ⑥ 【特別支援教育について】 よく理解できた7名 /まあまあ理解できた2名
- ⑦ 【講演会後の総合的な満足度】 大変満足6名 /満足3名
- ⑧ 【メールでの情報配信】 希望する8名 /希望しない1名

◇感想

- ・とても参考になりました。またこのような機会があれば参加したいです。
- ・とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・千葉市のこと教えて頂けて安心しました。教育委員会に連絡してみます。夜驚症のことも気になっていた
ので聞けて安心しました。

ご参加者様アンケート

この度はご参加いただき誠にありがとうございました。
よろしければ下記アンケートにご協力ください。

■ご参加者情報

フリガナ	[REDACTED]
お名前	[REDACTED]
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input checked="" type="checkbox"/> 女性
メールアドレス	[REDACTED]
ご職業	<input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 公務員 <input checked="" type="checkbox"/> 専業主婦(夫) <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 福祉関係 <input type="checkbox"/> 教職員 <input type="checkbox"/> 医療関係 <input type="checkbox"/> その他 ()
お住まいの地域	<input type="checkbox"/> 四街道市 <input checked="" type="checkbox"/> 千葉市 <input type="checkbox"/> 佐倉市 <input type="checkbox"/> 八千代市 <input type="checkbox"/> その他 ()

■講演会について

ご参加に至ったきっかけ	<input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> 市政だより <input checked="" type="checkbox"/> 知人の紹介 <input type="checkbox"/> Face Book <input type="checkbox"/> その他 ()
お子さんの就学状況	<input checked="" type="checkbox"/> これから就学する <input type="checkbox"/> 既に就学している <input type="checkbox"/> 卒業している <input type="checkbox"/> その他 ()
特別支援教育について	<input checked="" type="checkbox"/> よく理解できた <input type="checkbox"/> まあ理解できた <input type="checkbox"/> あまりわからない <input type="checkbox"/> 全くわからない
講演会の総合的な満足度	<input checked="" type="checkbox"/> 大変満足 <input type="checkbox"/> 満足 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 不満 <input type="checkbox"/> 大変不満
講演会やイベントの案内をメールで受け取ることを希望しますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない

このたび本講演会に参加されてみていかがでしたか？次回の講演で聞きたい内容、講演内容の中で活かせるような事、もっところしたら良いといったご指摘、その他ご感想がございましたらご記入ください。

千葉市のこと、教えて頂けて、安心しました。教育委員会に連絡してみます。夜驚症の子のこと、気にして頂いたのが、聞いて、安心しました。相談に行ってみようと思います。

ご協力ありがとうございました。

2020年9月9日 特別支援教育ってなんだろう？

ご参加者様アンケート

この度はご参加いただき誠にありがとうございました。
よろしければ下記アンケートにご協力ください。

■ご参加者情報

フリガナ	[REDACTED]
お名前	[REDACTED]
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input checked="" type="checkbox"/> 女性
メールアドレス	[REDACTED]
ご職業	<input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 公務員 <input type="checkbox"/> 専業主婦(夫) <input type="checkbox"/> 自営業 <input checked="" type="checkbox"/> 福祉関係 <input type="checkbox"/> 教職員 <input type="checkbox"/> 医療関係 <input type="checkbox"/> その他 ()
お住まいの地域	<input checked="" type="checkbox"/> 四街道市 <input type="checkbox"/> 千葉市 <input type="checkbox"/> 佐倉市 <input type="checkbox"/> 八千代市 <input type="checkbox"/> その他 ()

■講演会について

ご参加に至ったきっかけ	<input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> 市政だより <input checked="" type="checkbox"/> 知人の紹介 <input type="checkbox"/> Face Book <input type="checkbox"/> その他 ()
お子さんの就学状況	<input checked="" type="checkbox"/> これから就学する <input type="checkbox"/> 既に就学している <input type="checkbox"/> 卒業している <input type="checkbox"/> その他 ()
特別支援教育について	<input checked="" type="checkbox"/> よく理解できた <input type="checkbox"/> まあ理解できた <input type="checkbox"/> あまりわからない <input type="checkbox"/> 全くわからない
講演会の総合的な満足度	<input checked="" type="checkbox"/> 大変満足 <input type="checkbox"/> 満足 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 不満 <input type="checkbox"/> 大変不満
講演会やイベントの案内をメールで受け取ることを希望しますか?	<input checked="" type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない

このたび本講演会に参加されてみていかがでしたか? 次回の講演で聞きたい内容、講演内容の中で活かせるような事、もっとこうしたら良いといったご指摘、その他ご感想がございましたらご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

2020年9月9日 特別支援教育ってなんだろう?

ご参加者様アンケート

この度はご参加いただき誠にありがとうございました。
よろしければ下記アンケートにご協力ください。

■ご参加者情報

フリガナ	[REDACTED]
お名前	[REDACTED]
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input checked="" type="checkbox"/> 女性
メールアドレス	[REDACTED]
ご職業	<input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 公務員 <input checked="" type="checkbox"/> 専業主婦(夫) <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 福祉関係 <input type="checkbox"/> 教職員 <input type="checkbox"/> 医療関係 <input type="checkbox"/> その他 ()
お住まいの地域	<input checked="" type="checkbox"/> 四街道市 <input type="checkbox"/> 千葉市 <input type="checkbox"/> 佐倉市 <input type="checkbox"/> 八千代市 <input type="checkbox"/> その他 ()

■講演会について

ご参加に促されたきっかけ	<input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> 市政だより <input checked="" type="checkbox"/> 知人の紹介 <input type="checkbox"/> Face Book <input type="checkbox"/> その他 ()
お子さんの就学状況	<input checked="" type="checkbox"/> これから就学する <input type="checkbox"/> 既に就学している <input type="checkbox"/> 卒業している <input type="checkbox"/> その他 ()
特別支援教育について	<input checked="" type="checkbox"/> よく理解できた <input type="checkbox"/> まあ理解できた <input type="checkbox"/> あまりわからない <input type="checkbox"/> 全くわからない
講演会の総合的な満足度	<input checked="" type="checkbox"/> 大変満足 <input type="checkbox"/> 満足 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 不満 <input type="checkbox"/> 大変不満
講演会イベントの案内をメールで受け取ることを希望しますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 希望する <input checked="" type="checkbox"/> 希望しない

このたび本講演会に参加されてみていかがでしたか？ 次回の講演で聞きたい内容、講演内容の中で活かせるような事、もっとこうしたら良いといったご指摘、その他ご感想がございましたらご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

2020年9月9日 特別支援教育ってなんだろう？

ご参加者様アンケート

この度はご参加いただき誠にありがとうございました。
よろしければ下記アンケートにご協力ください。

■ご参加者情報

フリガナ	[REDACTED]
お名前	[REDACTED]
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input checked="" type="checkbox"/> 女性
メールアドレス	[REDACTED]
ご職業	<input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 公務員 <input checked="" type="checkbox"/> 専業主婦(夫) <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 福祉関係 <input type="checkbox"/> 教職員 <input type="checkbox"/> 医療関係 <input type="checkbox"/> その他 ()
お住まいの地域	<input checked="" type="checkbox"/> 四街道市 <input type="checkbox"/> 千葉市 <input type="checkbox"/> 佐倉市 <input type="checkbox"/> 八千代市 <input type="checkbox"/> その他 ()

■講演会について

ご参加に当たったきっかけ	<input type="checkbox"/> チラシ <input checked="" type="checkbox"/> 市政だより <input type="checkbox"/> 知人の紹介 <input type="checkbox"/> Face Book <input type="checkbox"/> その他 ()
お子さんの就学状況	<input checked="" type="checkbox"/> これから就学する <input type="checkbox"/> 既に就学している <input type="checkbox"/> 卒業している <input type="checkbox"/> その他 ()
特別支援教育について	<input checked="" type="checkbox"/> よく理解できた <input type="checkbox"/> まあ理解できた <input type="checkbox"/> あまりわからない <input type="checkbox"/> 全くわからない
講演会の総合的な満足度	<input checked="" type="checkbox"/> 大変満足 <input type="checkbox"/> 満足 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 不満 <input type="checkbox"/> 大変不満
講演会やイベントの案内をメールで受け取ることを希望しますか?	<input checked="" type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない

このたび本講演会に参加されてみていかがでしたか？ 次回の講演で聞きたい内容、講演内容の中で活かせる事、もっとこうしたら良いといったご指摘、その他ご感想がございましたらご記入ください。

とても勉強になりました。
ありがとうございました。

ご協力ありがとうございました。

2020年9月9日 特別支援教育ってなんだろう？

ご参加者様アンケート

この度はご参加いただき誠にありがとうございました。
よろしければ下記アンケートにご協力ください。

■ご参加者情報

フリガナ	[REDACTED]
お名前	[REDACTED]
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input checked="" type="checkbox"/> 女性
メールアドレス	[REDACTED]
ご職業	<input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 公務員 <input checked="" type="checkbox"/> 専業主婦(夫) <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 福祉関係 <input type="checkbox"/> 教職員 <input type="checkbox"/> 医療関係 <input type="checkbox"/> その他 ()
お住まいの地域	<input checked="" type="checkbox"/> 四街道市 <input type="checkbox"/> 千葉市 <input type="checkbox"/> 佐倉市 <input type="checkbox"/> 八千代市 <input type="checkbox"/> その他 ()

■講演会について

ご参加に至ったきっかけ	<input type="checkbox"/> チラシ <input checked="" type="checkbox"/> 市政だより <input type="checkbox"/> 知人の紹介 <input type="checkbox"/> Face Book <input type="checkbox"/> その他 ()
お子さんの就学状況	<input checked="" type="checkbox"/> これから就学する <input type="checkbox"/> 既に就学している <input type="checkbox"/> 卒業している <input type="checkbox"/> その他 ()
特別支援教育について	<input checked="" type="checkbox"/> よく理解できた <input type="checkbox"/> まあ理解できた <input type="checkbox"/> あまりわからない <input type="checkbox"/> 全くわからない
講演会の総合的な満足度	<input type="checkbox"/> 大変満足 <input checked="" type="checkbox"/> 満足 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 不満 <input type="checkbox"/> 大変不満
講演会やイベントの案内をメールで受け取ることを希望しますか？	<input checked="" type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない

このたび本講演会に参加されてみていかがでしたか？ 次回の講演で聞きたい内容、講演内容の中で活かせるような事、もっとこうしたら良いといったご指摘、その他ご感想がございましたらご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

2020年9月9日 特別支援教育ってなんだろう？

ご参加者様アンケート

この度はご参加いただき誠にありがとうございました。
よろしければ下記アンケートにご協力ください。

■ご参加者情報

フリガナ	[REDACTED]
お名前	[REDACTED]
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input checked="" type="checkbox"/> 女性
メールアドレス	[REDACTED]
ご職業	<input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 公務員 <input checked="" type="checkbox"/> 専業主婦(夫) <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 福祉関係 <input type="checkbox"/> 教職員 <input type="checkbox"/> 医療関係 <input type="checkbox"/> その他 ()
お住まいの地域	<input checked="" type="checkbox"/> 四街道市 <input type="checkbox"/> 千葉市 <input type="checkbox"/> 佐倉市 <input type="checkbox"/> 八千代市 <input type="checkbox"/> その他 ()

■講演会について

ご参加に至ったきっかけ	<input type="checkbox"/> チラシ <input checked="" type="checkbox"/> 市政だより <input type="checkbox"/> 知人の紹介 <input type="checkbox"/> Face Book <input type="checkbox"/> その他 ()
おさんの就学状況	<input checked="" type="checkbox"/> これから就学する <input type="checkbox"/> 既に就学している <input type="checkbox"/> 卒業している <input type="checkbox"/> その他 ()
特別支援教育について	<input checked="" type="checkbox"/> よく理解できた <input type="checkbox"/> まあ理解できた <input type="checkbox"/> あまりわからない <input type="checkbox"/> 全くわからない
講演会の総合的な満足度	<input type="checkbox"/> 大変満足 <input checked="" type="checkbox"/> 満足 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 不満 <input type="checkbox"/> 大変不満
講演会やイベントの案内をメールで受け取ることを希望しますか?	<input checked="" type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない

このたび本講演会に参加されてみていかがでしたか？ 次回の講演で聞きたい内容、講演内容の中で活かせるような事、もっとこうしたら良いといったご指摘、その他ご感想がございましたらご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

2020年9月9日 特別支援教育ってなんだろう？

ご参加者様アンケート

この度はご参加いただき誠にありがとうございました。
よろしければ下記アンケートにご協力ください。

■ご参加者情報

フリガナ	[REDACTED]
お名前	[REDACTED]
性別	<input checked="" type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性
メールアドレス	_____@_____
ご職業	<input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 公務員 <input type="checkbox"/> 専業主婦(夫) <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 福祉関係 <input type="checkbox"/> 教職員 <input type="checkbox"/> 医療関係 <input checked="" type="checkbox"/> その他 (_____)
お住まいの地域	<input checked="" type="checkbox"/> 四街道市 <input type="checkbox"/> 千葉市 <input type="checkbox"/> 佐倉市 <input type="checkbox"/> 八千代市 <input type="checkbox"/> その他 (_____)

■講演会について

ご参加に至ったきっかけ	<input type="checkbox"/> チラシ <input checked="" type="checkbox"/> 市政だより <input type="checkbox"/> 知人の紹介 <input type="checkbox"/> Face Book <input type="checkbox"/> その他 (_____)
お子さんの就学状況	<input checked="" type="checkbox"/> これから就学する <input type="checkbox"/> 既に就学している <input type="checkbox"/> 卒業している <input type="checkbox"/> その他 (_____)
特別支援教育について	<input type="checkbox"/> よく理解できた <input checked="" type="checkbox"/> まあ理解できた <input type="checkbox"/> あまりわからない <input type="checkbox"/> 全くわからない
講演会の総合的な満足度	<input type="checkbox"/> 大変満足 <input checked="" type="checkbox"/> 満足 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 不満 <input type="checkbox"/> 大変不満
講演会やイベントの案内をメールで受け取ることを希望しますか?	<input type="checkbox"/> 希望する <input checked="" type="checkbox"/> 希望しない

このたび本講演会に参加されてみていかがでしたか？ 次回の講演で聞きたい内容、講演内容の中で活かせるような事、もっとこうしたら良いといったご指摘、その他ご感想がございましたらご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

2020年9月9日 特別支援教育ってなんだろう？

ご参加者様アンケート

この度はご参加いただき誠にありがとうございました。
よろしければ下記アンケートにご協力ください。

■ご参加者情報

フリガナ	[REDACTED]
お名前	[REDACTED]
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input checked="" type="checkbox"/> 女性
メールアドレス	@
ご職業	<input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 公務員 <input checked="" type="checkbox"/> 専業主婦(夫) <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 福祉関係 <input type="checkbox"/> 教職員 <input type="checkbox"/> 医療関係 <input type="checkbox"/> その他 ()
お住まいの地域	<input checked="" type="checkbox"/> 四街道市 <input type="checkbox"/> 千葉市 <input type="checkbox"/> 佐倉市 <input type="checkbox"/> 八千代市 <input type="checkbox"/> その他 ()

■講演会について

ご参加に至ったきっかけ	<input type="checkbox"/> チラシ <input checked="" type="checkbox"/> 市政だより <input type="checkbox"/> 知人の紹介 <input type="checkbox"/> Face Book <input type="checkbox"/> その他 ()
お子さんの就学状況	<input checked="" type="checkbox"/> これから就学する <input type="checkbox"/> 既に就学している <input type="checkbox"/> 卒業している <input type="checkbox"/> その他 ()
特別支援教育について	<input type="checkbox"/> よく理解できた <input checked="" type="checkbox"/> まあ理解できた <input type="checkbox"/> あまりわからない <input type="checkbox"/> 全くわからない
講演会の総合的な満足度	<input type="checkbox"/> 大変満足 <input checked="" type="checkbox"/> 満足 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 不満 <input type="checkbox"/> 大変不満
講演会イベントの案内をメールで受け取ることを希望しますか?	<input checked="" type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない

このたび本講演会に参加されてみていかがでしたか？次回の講演で聞きたい内容、講演内容の中で活かせる事、もっとこうしたら良いといったご指摘、その他ご感想がございましたらご記入ください。

ご協力ありがとうございました。

2020年9月9日 特別支援教育ってなんだろう？

ご参加者様アンケート

この度はご参加いただき誠にありがとうございました。
よろしければ下記アンケートにご協力ください。

■ご参加者情報

フリガナ	[REDACTED]
お名前	[REDACTED]
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input checked="" type="checkbox"/> 女性
メールアドレス	[REDACTED]
ご職業	<input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 公務員 <input checked="" type="checkbox"/> 専業主婦(夫) <input type="checkbox"/> 自営業 <input type="checkbox"/> 福祉関係 <input type="checkbox"/> 教職員 <input type="checkbox"/> 医療関係 <input type="checkbox"/> その他 ()
お住まいの地域	<input type="checkbox"/> 四街道市 <input type="checkbox"/> 千葉市 <input type="checkbox"/> 佐倉市 <input type="checkbox"/> 八千代市 <input type="checkbox"/> その他 ()

■講演会について

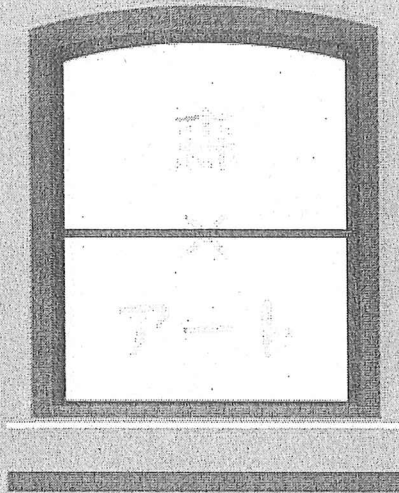
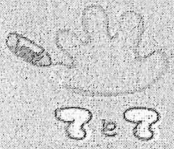
ご参加に至ったきっかけ	<input type="checkbox"/> チラシ <input type="checkbox"/> 市政だより <input checked="" type="checkbox"/> 知人の紹介 <input type="checkbox"/> Face Book <input type="checkbox"/> その他 ()
お子さんの就学状況	<input checked="" type="checkbox"/> これから就学する <input type="checkbox"/> 既に就学している <input type="checkbox"/> 卒業している <input type="checkbox"/> その他 ()
特別支援教育について	<input checked="" type="checkbox"/> よく理解できた <input type="checkbox"/> まあ理解できた <input type="checkbox"/> あまりわからない <input type="checkbox"/> 全くわからない
講演会の総合的な満足度	<input type="checkbox"/> 大変満足 <input checked="" type="checkbox"/> 満足 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> 不満 <input type="checkbox"/> 大変不満
講演会やイベントの案内をメールで受け取ることを希望しますか?	<input checked="" type="checkbox"/> 希望する <input type="checkbox"/> 希望しない

このたび本講演会に参加されてみていかがでしたか？ 次回の講演で聞きたい内容、講演内容の中で活かせる事、もっとこうしたら良いといったご指摘、その他ご感想がございましたらご記入ください。

とても参考になりました。
またこのような機会があれば参加したいです。

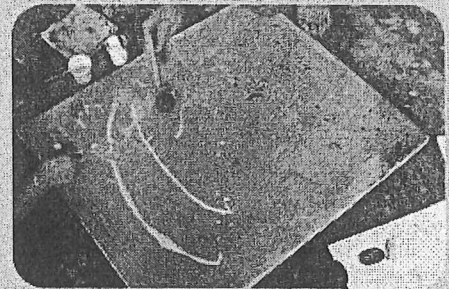
ご協力ありがとうございました。

2020年9月9日 特別支援教育ってなんだろう？



みどりのまどからみえるもの

皆さんが知っている「みどりいろ」って
どしな色ですか。
若草色？稲の色？深い深い森の色？
皆さんのみどりいろを「色の三原色+白」
で作って四角い板に描いています。
新しい風景が生まれることでしょう。



※できた作品はどんぐりの森のリーダーハウスに貼らせていただく予定です。

【とき】 **11月7日(土)**

天候不良の場合は中止となります。前日判断し、電話又はメールでご連絡します。

【ところ】 四街道プレーパークどんぐりの森

<https://dongurinomori.net/>

【対象】 年長～小学生

【定員】 ①10:00～11:00 10名 ②11:00～12:00 10名

【参加費】 1人300円

【持ち物】 汚れてもよい服装・マスク・飲み物



【講師】 てまちだたまおさん
(たまあーと創作工房代表)

<https://www.tamart.net/>
美術などのアートを福祉施設や発達障害
のある子どもたちの教室、環境保護など
に活かして活動しています。

■申し込み・問い合わせ・・・11月2日(月)～当日まで、てとて～つながる支援の輪～(後援)に電話またはメールでお申し込み
☎090-4520-5804 ✉tetote.yotsukaido@gmail.com ※本事業は、コラボ四街道採択事業です(担当)政策推進課

イベント報告書

2020年11月7日

(1) 概要

名 称	森×アート みどりのまどからみえるもの
講 師	株式会社いろだま たまあーと創作工房 御領 徳子 (こまちだ たまお)
日 程	2020年 11 月 7 日 (水) 10:00~12:00
場 所	四街道プレーパークどんぐりの森
概 要	<p>皆さんが知っている「みどりいろ」ってどんな色ですか。</p> <p>若草色？稲の色？深い深い森の色？皆さんのみどりいろを「色の三原色」+白で作って四角い板に描いていきます。</p> <p>新しい風景が生れることでしょう。</p>
目 的	<p>○「色の三原色」+白で色々な色が作れることを伝える。</p> <p>○外で開催することでイメージがしやすいようにする。</p> <p>○縦（年齢）つながりで回りと交流しながら参加する。</p>

(2) 報告事項

内 容
<p>今回のイベントでは「色の三原色+白」を使って色を作る楽しみを伝えます。</p> <p>講師の方が木の枠を用意してくださり、自然の中から色々な色をイメージすることで緑以外にもたくさん色を発想できるようにしました。</p> <p>板に塗り作った作品はプレーパークの小屋の一部となることで、このイベントが参加してくださったお子さんの心にいつまでも残ってくれることと思いました。</p>

プレーパーク開催日にすることで、イベント終了後も遊べるようにしました。

結 果

参加者数20名(目標20名)

10:00~11:00 10名

11:00~12:00 10名

所 感

新型コロナウイルス感染症対策により1時間程度でできるイベントで、回数を2回に分けてより多くの方が参加できるようにしました。市政だよりに掲載して頂き、あっという間に定員に達しました。またプレーパークを会場とすることで知らなかった方にも知っていただく機会となりました。

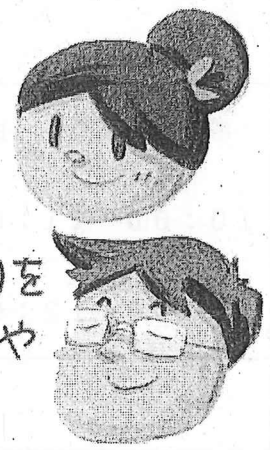
子どもたちは何回も色を作り、色を足して調整し、色づくりに夢中になっていました。イベント開催時間は賑やかな空気につつまれ、外のイベントだったので好きな場所で描くことができました

作った作品はプレーワークの小屋に飾り、自宅に持ち帰ったお子さんもいました。

てとて



どんな子でも自分らしく生きていい街へ。
子どもたちが自分らしくいられる居場所づくりを
しています。また、様々なイベントの企画開催や
イベントの情報の発信もしています。



わかちあいのわ
毎月第4木曜日
10:00～12:00
参加費500円
日替りシェフの店
さくらそう

おやこのわ
毎月日曜日2回
10:00～12:00
参加費合書制
0歳～3歳親子対象
5月から開催

まなびのわ
不定期開催
(HP・Facebookにて
お知らせします)
10:00～12:00
参加費800円

イベント
・講演会
・座談会など
講師を依頼して
定期的に開催

サポーター募集
・イベントの講師
・イベントのお手伝い
・サポーターイベントの講師
等、できることのお手伝いで
大丈夫です。

あそびのわ
毎月第1土曜日
10:00～14:00
参加費無料
だれでも参加できます
4月から開催

てとて～つながる支援の輪～

☎ 090-4520-5804 (担当:後藤) ✉ tetote.yotsukaido@gmail.com

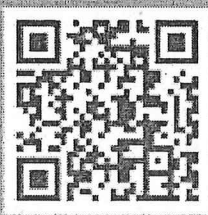
[facebook]



[LINE]



[HP]





てとて～つながる支援の輪～

活動の目的と理念

みんな誰もが得意なことや不得意なことがきっとあるはず。

そんな「個性」をお互いに認め合って、支え合える関係になれば。

そしてお互いに支え合うことで自分らしくなれる居場所ができれば。

「てとて～つながる支援の輪～」は課題を抱える子どもそうでない子ども
お互いの事を認め合い理解するためのイベント開催や居場所づくりを目的に
活動します。

それらの活動を通して子どもたちが地域の方々に理解されていく事が、
子どもたちが住みやすい街の形成へと繋がっていくでしょう。

凸凹のある子が自分らしく生きていい街へ。



2020年度の活動を振り返って

私たち「てとて～つながる支援の輪～」は、昨年度に続き2020年度のコラボ四街道採択事業として活動を行ってきました。

四街道市と二人三脚で歩んできた2年目。スタートは新型コロナウイルス感染症の拡大により活動を控えましたが、私たちの活動は子どもたちの居場所として、保護者の情報共有の場として、とても大切な居場所になってると感じました。

- ・子供たちを対象にしたイベントを定期的で開催。
- ・専門家を招致した講演会。

少しずつ私たちの活動も認知され、多方面から活動のコラボレーションのお声掛けを頂く機会も多くなりました。

今年度の活動は、たくさんの関係者の皆様に支えられ無事に走りきれた1年だったといえます。

今後は団体名を『子育てサポートてとて』に変更します。活動の幅を拡大し、四街道市、そして市民の皆様と一緒に、発達に課題を抱える子供が住みやすい地域づくりの発展に努めたいと思います。



専門家による講演会



専門家による講演会を開催させて頂きました。

昨年度開催し好評でした「特別支援教育ってなんだろう？わが子の就学先の選び方」という演題です。

特別支援教育についてわかりやすく教えて頂き、そのあとは座談会を開催しました。

座談会では一人ひとりの質問に丁寧に応えていただき、有意義な時間を過ごすことができました。

【活動実績】

9月9日 9名 わろうべの里



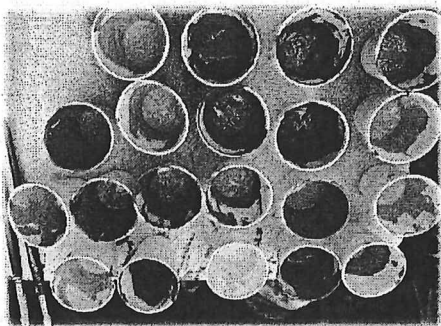
森×アート (アートイベント①)



千葉県内で美術教室を開催されてる方を講師にお迎えして、プレーパークどんぐりの森の敷地内にて、「みどりのまどからみえるもの」というテーマでアートイベントを開催しました。

「色の3原色+白」を使ってたくさん色ができました。

でき上がった作品は小屋の壁の一部として飾りました。

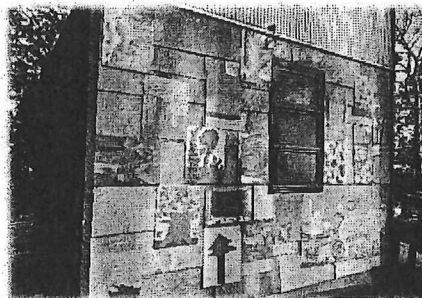


↑
「色の3原色+白」を使ってたくさん
いろができました。

四街道プレーパークどんぐりの森の
小屋の壁に飾りました。

【活動実績】

11月7日 20名 四街道プレー
パークどんぐりの森





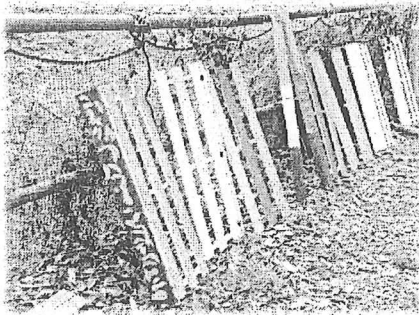
木工×アート (アートイベント②)



お父さんが参加しやすくなるようなイベントを企画したいという思いから木工のイベントを開催しました。

ペイントはアートイベント①の残りの絵の具を使い、色づくりからペイントまで楽しんで参加できてたように思います。

すべての家族がお父さんが参加してくれ、わが子に声を掛けながら棚づくりをしていました。人数も少なく参加者同士が交流でき、楽しい時間を過ごすことができました。



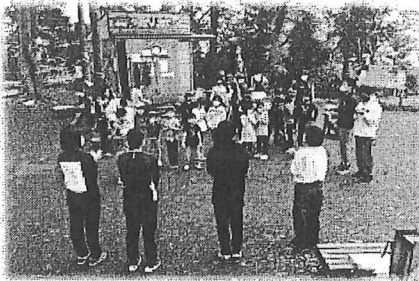
【活動実績】

3月7日 8名 四街道プレーパーク

どんぐりの森



すきなことをしてあそぼう



春休み初日すきなことであそぼうイベントを開催しました。

最初は「増やし鬼」からスタート。続いてドッチボールをしました。ビブスを付けることで誰が鬼か、誰が仲間かわかりやすくなりました。2カ所場所をお借りしたので分散でき、幼児や保護者ものんびり過ごすことができましたと思います。

昼食後は泥遊びやバドミントン・縄跳びなど好きな遊びを楽しみました。

淑徳大学の学生も参加してくださり、お兄さんお姉さんと遊ぶことは子どもたちも楽しかったようです。学生からも、自然豊かで子どもたちがのびのびと遊ぶ環境がまだ残ってることに感動しました参加したいとの声を頂きました。



【活動実績】

3月25日 31名 四街道プレーパーク

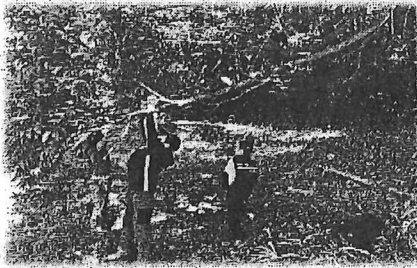
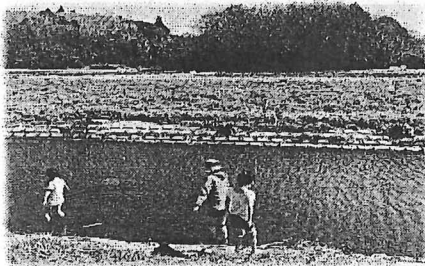
どんぐりの森

※おやつ→NPO法人みのり福祉会 障がい者就労・生活さぽーとピースのマドレーヌ

3



自然観察教室（お散歩イベント）



草花や自然が好きな方を講師にお迎えして自然観察教室（お散歩イベント）を開催しました。

2月はとても暖かく気持ちのいい天気です。幼児から参加できるコースを選びました。川沿いを歩き昼食後は川遊びをしました。

3月は荒天のため翌日に延期しました。千代田から佐倉方面へ長距離の散歩でしたが、養鶏場の見学など子どもたちにとって貴重な経験となりました。

両日ともよつグルメ研究会のよつぼくんクッキーを持参しおやつに食べました。

お散歩イベントは
【活動実績】

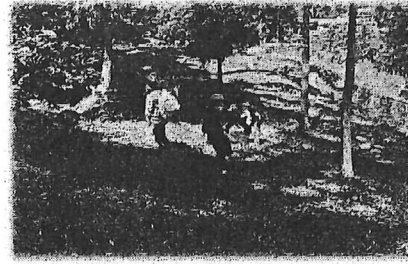
2月23日 11名

たろやまの郷→小名木川

3月14日 11名

千代田→佐倉(甲賀神社)

※おやつ→よつグルメ研究会のよつぼくんクッキー



新型コロナウイルス感染症でイベントが制限され、後半外活動中心のイベントを開催してきました。子どもたちが生き生きと過ごす姿を見て今後もこのような活動をしていきたいと思えます。



てとて～つながる支援の輪



代表 後藤裕紀 (ごとうゆうき)

副代表 後藤陽子 (ごとうようこ)

Facebook

HomePage

Mail



tetote.yotsukaido@gmail.com

Tell

090-4520-5804

作成日：2021年3月末日

4

子育てサポートとして大切にしたいこと

人と人が行き交う
交差点で
点と点をつなぎ
顔と顔がわかる間柄で
まあるく まあるく
「てとて」をつなぐ

てとてサポート一募集

- ① イベントのお手伝い講師
- ② てとてのおうちの手伝い
など「なご」のできることでお手伝い

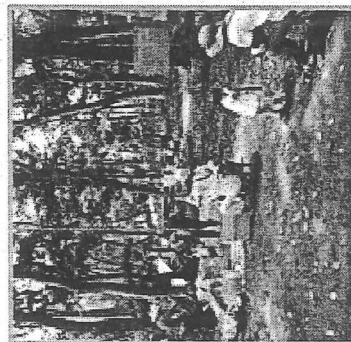
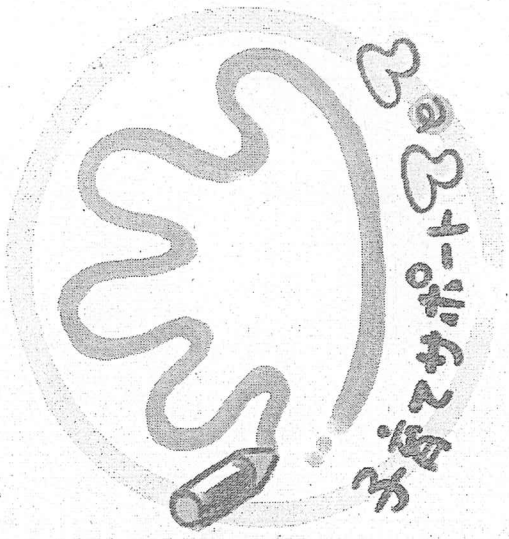
子育てサポートとして事務所

てとてのおうち てとてのメンバー




〒284-0003 四街道市鹿渡 592-1 | TEL: 090-4524-9804 | E-MAIL: teyotey@tutukalab@gmail.com

てとてのおうち
・ちよこつと相談
・おしやべりしながらお茶 TIME
・子供服のおゆすり
・本の貸し出し など...



おゆこのち

第2木曜日
第4日曜日

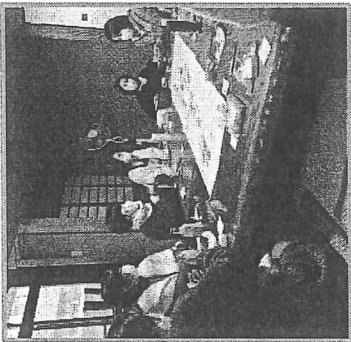
- ・親子の交流
- ・おやこさん理
- ・自然体験活動



あそびのち

毎月第1土曜日

- ・ムーディームービー
- ・外遊び



わかちあいのち

毎月第4木曜日

その他のイベント

- ・講演会
- ・クラフト
- ・勉強会
- ・フックキング
- ・お散歩

いろいろな
友だちとの
出会い

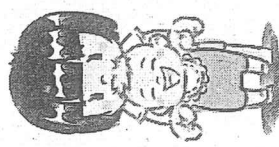
こどもサポート

子育て
仲間づくり

親子サポート

みんな
子育て

親サポート



事業報告書類

食を通して四街道を元気にする会

コラボ四街道まとめ

団体名	食を通して四街道を元気にする会
事業名	地産地消で美味しいものめぐり

事業部門	地域づくり部門
担当課・関係課	産業振興課

事業内容	<p>事業の詳細な内容（実施日、参加者数、会場、スケジュール等）や市、関係機関との役割分担や関わり等について記載。資料が多い場合は別途添付。</p> <p>地産地消を促進し、地場産品を広めるため、市内の飲食店や農業者の情報を地図に示した「四街道ぐるめまっぷ」の制作を行った。</p> <p>作成した「四街道ぐるめまっぷ」冊子 5000 部を市役所・公民館・四街道駅等に配布用に設置。掲載店舗や生産者からの配布などの方法で市民の手に届くようにしている。</p> <p>打ち合わせ会議 27 回。</p> <p>市民大学講座グルメ同好会の店舗リストを基に食事訪問及び調査訪問した店舗数約 120 軒。</p> <p>産業振興課農政係より紹介いただいた認定農業者を中心に訪問した農業者約 30 件。</p> <p>市内を 3 地域に分け其々担当者が数回の訪問を重ね、情報収集した。コロナ対応により経営困窮する店舗の姿が多々見られ、閉店を考慮するとの理由から掲載辞退を伝えられる例もあった。最終原稿案は店主・生産者に確認を得て、印刷製本に進めた。商工会を訪問し登録店舗の QR コード取得への協力を得た。</p> <p>よつまちマルシェの「さきめし」プロジェクトには店舗情報の提供及び推薦店舗への登録に向けての説明を担った。</p>			
事業内容変更	<p>軽微なものを除き、当初予定していた事業の内容に変更があった場合は、その内容と理由を記載</p> <p>掲載店舗 30 件ほどの予定で活動を開始したが、掲載の公平性を基軸にし、業種選択して掲載することとした。そのため掲載予定店舗が約 2 倍の数となった。1 枚の地図での案内は困難と考え冊子形式に変更した。</p> <p>印刷製本費が大きく予算超過した。</p> <p>グルメ同好会の会員に有償ボランティアとして、店舗開拓・訪問調査を依頼する予定であったが、新型コロナウイルス感染対策のため実施できなかった。</p>			
事業費総額	予算	328,000 円	決算	328,529 円
補助金額	予算	295,000 円	決算	295,000 円

事業成果	<p>事業実施した結果、得られた成果や効果を、数字等を交えて記載</p> <p>市民からのアンケート回答も届いており「四街道に住んでいるが市内の店についてはよく知らないので楽しみだ」との声が聞かれる。</p> <p>生産者からは新規入植して頑張っている農業者も案内してほしいとの要望を聞いている。</p> <p>「四街道ぐるめまっぷ」の配布によって、市民にも店舗にも地元野菜の案内ができ、地産地消の意識向上につながった。市内の飲食店の情報が市民に伝わり、市内店舗への訪問の機会が増えることにより「食」を通じた地域の魅力発信につながった。</p>
事業の課題、担当課との関わり等	<p>事業全体を通して、改善点や今後の課題、担当課との関わり等について記載。</p> <p>飲食店舗からの声で、「味を大切に長年営業している。地元の野菜を使用したいが購入がしづらい。店の紹介や広告の機会がない」といった内容を聞かせていただいた。生産農家の方も販売場所が少ないので近隣他市に出していると聞いた。地産地消を進める上では、生産者と消費者の接する機会が少ない課題がある。産業振興課で、市民親子農業収穫体験講座等も企画されているので、案内に加えて協力していきたいと考えている。</p> <p>紙ベースの案内は視認性には優れていると思えるが、タイムリーな情報の修正や更新への対応には困難がある。市内に限らず他市への拡散に関しても優位に働くインターネットを活用した運用を検討する必要がある。</p>

今後の事業展開	<p>成果や課題等を踏まえた今後の事業展開について記載</p> <p>令和2年度で掲載できなかった飲食関連業種のマップへの訪問掲載を予定する。</p> <p>農政係に協力いただき、紹介生産農家のマップへの訪問掲載を予定する。</p> <p>13年から毎日曜日の開催を続けている「朝市」のマップでの紹介を予定する。</p> <p>マップについて、Web上で情報発信するため、みんなで地域づくりセンターに指導頂きながらHP開設等進める予定としている。</p>
---------	---

担当課のふりかえり	<p>(産業振興課)</p> <p>「四街道ぐるめまっぷ」は飲食店等がエリア別にとてもわかりやすく掲載されています。また「四街道ぐるめまっぷ」を公民館等に配布し広報したことにより、市民に対し効果的に飲食店、地場産農産物等の周知が図られ</p>
-----------	---

	たと考えます。
--	---------

みんなで地域づくり推進委員会のコメント	
---------------------	--

※その他アンケート等がある場合は別途添付してください

[写真添付]

--	--

--	--

--	--

みんなで地域づくり事業収支決算書

事業名	地産地消で美味しいものめぐり
団体名	食を通して四街道を元気にする会

【収入】

(単位：円)

項目	予算額	決算額	差額	具体的な内容
市補助金	295,000	295,000	0	
自己資金	33,000	33,529	529	会費 16,000 (2,000×8名) 自己資金 17,529
収入合計	328,000	328,529	529	

【支出】

(単位：円)

項目	予算額	決算額	差額	具体的な内容	
対象経費	需要費	240,000	239,869	131	消耗品費：12,037 文房具等 (2,301) コピー用紙 (764) インク代 (8,972) 印刷製本費：227,832 (冊子 5,000 部)
	委託費	88,000	88,000	0	マップデザイン費 (マップ 4 ページ分)
小計		328,000	327,869	131	
対象外経費	需用費	0	440	△440	名刺カード代
	手数料	0	220	△220	送料
小計			660	△660	
支出合計		328,000	328,529	△529	

「ぐるめまっぷ 2021 版」配布場所・配布部数

2021.3.20

2021 版 発行予定数 5000 部

10 カ所 計 1800 部

1. 公民館 3 箇所 : 600 部 (四街道・千代田・旭) 200×3
2. 市役所 : 200 部
3. 市役所 第二庁舎 : 200 部
4. 福祉センター : 100 部
5. 文化センター : 200 部
6. ふれあいセンター : 100 部
7. わろうべの里 : 200 部
8. 四街道駅 : 200 部

店舗 : 各 20 部 66 軒 : 1320 部

生産者 : 各 10 部 24 軒 : 240 部

会の予備 : 1640 部

「食を通して四街道を元気にする会」島田佳代

アンケート調査ご協力をお願い

飲食店各位

時下 益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、この度“四街道ぐるめまっぷ”の掲載にご協力いただき御礼申し上げます。同まっぷの作成・配布から一定期間が経過後、同まっぷの効果等の検証を行うためアンケート調査を行うこととなりました。つきましては、下記問いにご回答いただきますようお願い申し上げます。

2021年3月吉日
食を通して四北海道を元気にする会
会長 島田佳代

記

Q-1：本“ぐるめまっぷ”の記載内容はご希望に沿う内容でしたか

想定通りの内容 ほぼ想定通りの内容 期待外れであった

Q-2：本“ぐるめまっぷ”の発行でお客様の入りに変化はありましたか

お客様が増えた気がする 何とも云い切れない 特に変化はない

Q-3：来店されるお客様から、「本“ぐるめまっぷ”を見た」とか話題になったことはありますか たまにそのようなお客様はいる 特に聞いたことはない

Q-4：他店の情報を見て「良い点を取り入れてみよう」というようなお考えは

特にない 今後検討してみたい その他

Q-5：次年度以降、本“ぐるめまっぷ”に掲載することについて

希望する 希望しない

継続を希望される場合、発行資金として店舗様にご協力をお願いした場合

協力する 条件次第で協力する 協力できない

今後発行する“ぐるめまっぷ”にご要望する事があればご記入ください

[]

※ ご協力ありがとうございました。
後日、担当の者がお伺いさせていただきます。

みんなで地域づくり事業提案制度の審査方法についての検討

令和 2 年度第 3 回の委員会の後、審議の最中に意見が割れた際に解決できる方法を考えた
いということで、関委員より提言があったため、その提言を受け、今後どのように対応し
ていくかについて事務局の案を以下に示します。

(提言 1)

現在も希望があれば再採点ができる制度にはなっているが、公式的に再採点の場を設けて
いるわけではない。前回の委員会で再採点の話になった際に、反対の主張が強かったため、
再採点は行わないこととなった。公式的に再採点の場を定めてはどうか。

(市としての考え)

元来必要に応じて再採点を行うことは可としてきたが、公式的に再採点の場を設けていな
かったため、あらかじめ 2 度採点の場を設けることとする。

第 2 回の委員会で委員同士の意見を取り交わしたのち、委員会終了後にメール等で書類を
見た段階での採点表を提出していただくこととする。(1 度目の採点)

第 3 回の審議の時間の開始時に第 2 回終了時点での採点表を公開し、議論後、結果に関わ
らず最終的な採点表を提出していただく。(2 度目の採点)

(提言 2)

評価の基準が自分と他の委員で異なると感じる。どういった視点で評価をつけるかの参考
として、市からの見え方が分かるものを示した方が良いのではないか(「四街道市」という
観点にこだわらず事業の企画書類を見てフラットに評価するのか、四街道市で初の試みの
場合等にその気持ちを汲み取って応援した方が良いのか等)

(市としての考え)

第 2 回の委員会で、市の評価的なものを出す考えはないが、参考として「事務局意見書」
という提案団体の気になる点等を事務局視点で記載した資料をより詳細にする。市でどう
いったものを推進しているのか、何が課題になっているか等の市の現状や、それぞれの事
業の個別の懸念点を、参考の範囲で記載する。

(その他市としての考え)

第 3 回の委員会の時点で当該年度の事業が終了していない継続団体についての評価が難し
い問題がある。

継続団体についてはその時点での進捗が分かるような書式を事務局で用意し、別途提出し
ていただくようにする。また、発行物等で制作途中のものがあればその時点での状態のも
のを持参していただくようにする。